

第七十五回
帝國議會
貴族院

國民優生法案特別委員會議事速記録第二號

昭和十五年三月二十三日(土曜日)午前十時十九分開會

○委員長(子爵野村益三君) 是ヨリ開會致シマス、昨日チヨット申上ゲマシタガ、今日ハ一ツ大體論ニ付テ十分ナル御質疑ヲ願ヒタイト存ジマス

○光行次郎君 私が御尋ネ致シタイと思フ所ハ、衆議院ニ於テモウ既ニ其ノ言ハムトスル所ヲ殆ド盡シテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、衆議院ニ於テ現レナイ點ニ付テ今日チヨット大臣ノ御説明ヲ願ヒタイと思フデアリマス、ソレハ優生審査會ノ此ノ優生審査ト云フモノガ、勅令ニ委セラレテ居ッテ、其ノ勅令案ヲヤウナモノガ此處ニアリマスカラ見テ見マスルニ、ソレデハ審査ノ運用ガウマガ行クダラウカト云フコトヲ懸念スルモノデアリマス、第一昨日モ本會議デ質問ノアツタ通りニ、御家騷動ト云フヤウナモノガ懸念セラレラバ、是ニハ十分ノ御調べト云フコトガ必要ニナツテ來マス、ソレデナクテモ本人ガ申請シテ來ル、果シテ其ノ申請ガ本人ノ本心ニ出ズルカト云フコトヲ調べテ見ナケレバナラス、父母ノ同意ヲ要スルト云ツテモ、其ノ父母ノ同意ガ果シテ其ノ本心ニ出ズルカヲ調べナケレバナラス、此ノ取調ト云フモノハ少クとも強制デ行カネバ效果ヲ收メルコトハ出來ナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、尙本人ガ出頭ヲ肯ジナイ際、暴レテドウシテモシナイト云フ場合ニハ、之ヲ引致スル手段ヲ講ジナケレバナラス、或ハ之ヲ縛ッテ、サウシテ

ソレヲ審査場ニ連レテ行クト云フコトモシナケレバナラスヤウナコトモアルヤモ知レヌ、サウ云フヤウナ際ニ、矢張り是モ強制ノニヤラナケレバ無暗ニ之ヲヤルコトハ出來ナイ、尙又此ノ審査委員ト申請ヲ爲ス者トノ間ノ親戚關係トカ何トカデ、刑法デハ忌避除斥トカ云フケレドモ、ソレガ介在スル場合ニ之ヲドウ處分スルカ、尙調べアル、サウ云フ際ニハ本人ノ常ニ掛リツケノオ醫者サンヲ呼ブ、サウスルトオ醫者サンガ偽ヲ言フ、偽ヲ言フコトガ明白ナ場合ニモ、之ヲ處罰スル規定ガナイヤウナ場合ニハ、非常ニオ困リニナルデヤナカラウカ、サウ云フ點ヲ考ヘ來リマス、此ノ勅令ニ御委シニナツタト云フコトハ、少シ物足ラヌヤウナ感ジガスルノデゴザイマス、寧ロ「ドイッ」ノヤウニ特別裁判所ヲ組織シテ、サウシテ之ヲ區裁判所ノ附屬トシテ、今私ガ申上ゲタヤウナ取調上ノ權能モ、或ハ申請ノ違反モ、忌避除斥、總テノモノガ行ハレルヤウニナサレタ方ガドウデアラウカ、縦シヤソレガ特別裁判所デナクテモ、此ノ優生審査會ノ方ハ勅令ニセズシテ、此ノ法文中ニ何トカサウフ權力行使ノ規定ヲ御設ケニナル必要ハナイダラウカト云フコトヲ、私ハ大臣ニ御質問申上ゲル次第デアリマス

○國務大臣(吉田茂君) 本法ノ中ノ強制ヲ要スル部分ト云フモノヲ、的確ニ執行シヨウト云フコトヲ主眼ト致シマスルト、丁度只今御提議ニナリマシタヤウナ手續、又其ノ手續ノ際ノ處罰ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、モット嚴重ナ規定ガアツタ方ガ、執行上ニ確實サヲ期待シ得ルト云フコトニナラウカト思フノデアリマスガ、昨日モ御説明申上ゲマシタ通り、初メテ斯クノ如キ制度ヲ實行スルニ付キマシテハ、法ノ統制、強制力ニ依ッテ效果ヲ期待スルト云フコトモ此ノ中ニ若干アリマスコト御承知ノ通りデアリマスルガ、ソレヨリ銘々國民ガ優良ナ子孫ヲ多數ニ得ルト云フコトガ國家ニ對スル奉公ノ途デアルト云フ意味ノ自覺ヲ促ス、ソレガ又アリマセヌケレバ如何ニ嚴重ニ法律デ取締リマシテモ、本當ノ國民優生ノ實ハナカク、舉ガリ兼ネルト思フノデアリマス、左様ナ申サバ指導ノ立場ヲ主ト致シテ居リマスルノデ、從ッテ優生手術ノ如キモ、已ムヲ得ザル公益ニ重大害惡ヲ及ボシマスル虞レノアル場合ヲ除キマスル外ハ、任意ニ本人ノ申請ト云フコトヲ基礎ニシテ行フト云フ建前ヲ執ッテ居リマスルノデ、從ッテ此ノ法律ノ條文中ニ只今御例示ニナリマシタヤウナ強制的ナ手續ヲ入レルカドウカト云フコトハ、本法實施ノ結果ニ徴シマシテ、又慎重ニ考ヘテ見ルベキコトデアアルマイカト云フ意味デ、若干生溫イト思ハレルヤウナ、サウ云フ風ニ御取リニナラレマサウナ立法ニ大體ナツテ居ルノデゴザイマス、尙此ノ審査委員會其ノモノノ働キハ審査ニアル譯デゴザイマシテ、其ノ申出等

ニ付キマシテ、昨日モ本會議デ御質問ニナリマシタヤウニ、御家騷動ノナコトガ中ニ伏在シハシナイカ、サウ云フ心配ノアリマスル時分ニハ、審査會ノ會議前ニ行政官廳ノ手ニ於キマシテ、出來得ル限り周到ナル注意ヲスルコトニ依ッテ避ケ得ラレルカト思ッテ居リマス、之ヲ一ニ嚴正ナ裁判ノ方法デ取扱フト云フコトガ一面ニハ必要デアルニハ違ヒナイノデアリマスルガ、要點ヲソコニ置カズシテ矢張り原則ハ本人ノ申請、本人ノ申請シ得ナイ場合ハ公益上重大ナ障害ノアル場合ニ初メテ強制ヲスル、左様ニ致スコトガ適當デアラウト云フ左様ナ考ヲ以チマシテ、全體ノ仕組ガ出來テ居ル譯デアリマス、尙公益上重大ナ精神病者等ニ付キマシテ、行政ノ手續トシテソレヲ監置スルト云フヤウナ際ニハ、今日デモ已ムヲ得ナイ場合ハ其ノ手續ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、ソレハ其ノ方ノ運用ニ依リマシテヤルベキデ、優生法ノ働キト云フコトニ致サナクとも、サウ云フ危險ノアル場合ハ、已ムヲ得ズ本人ノ自由ヲ奪フト云フコトハ行ヒ得ルノデアリマシテ、今日初メテ我が國ニ於キマシテ、此ノ法ヲ實行致シマスルニ付キマシテハ、當局ト致シマシテ此ノ程度カラ出發スルコトガ本當デアアル、左様ナ考ノ下ニ立案シテアル次第デアリマス

○光行次郎君 我ハモウ一點御尋ネシタイ、只今ノ御答ニ依リマスルト、此ノ法案ガ總テ任意性ヲ骨子トシテ居ルト云フコトデ御説明ニナリマシタガ、私ハ此ノ任意制ト云フ

コトニ付テ頗ル遺憾ナ心持ガ致スノデアリマス、此ノ重要法案ヲ御執行ニナルニ當ツテ、任意性ヲ以テヤラレテハ、ドレダケノ效果ガ舉ガルカト云フヤウナコトニ付テ頗ル不安ヲ持ツモノデゴザイマス、寧ろ強制的ニオヤリニナツテハドウカ、今少シ強制的ノ部分ヲオ殖ヤシニナツテハドウカ、斯ウ云フヤウナ感じガ致シマス、殊ニ私ガサウ云フ感じヲ持チマスノハ、裁判所デ心神喪失ナリトシテ無罪ニナリ、或ハ不起訴ニナルト云フコトハ相當ノ數ニ上ツテ居リマス、是等ノ者ハ又重ネテ犯罪ヲヤリマス、刑事政策上カラ言フト、頗ル憂慮スベキモノデゴザイマスルガ、是等ノモノハ大抵遺傳的ニ來ル所ノ心神喪失ノ者ガ多イデアリマシテ、優生法ニ依ツテモ當然保護セラルベキ者デアルカラ、是等ノ者ニ對シテハ斷然強制的ニ優生法ニ掛ケテヤルト云フヤウナ御處置ガ、私ハ望マシク感ズルデアリマス、一例ヲ申上ゲマスルト、出齒龜式ノヤウナ者ハ誠ニ是ハ危險千萬ノモノデ、直ぐ優生手術ヲ施サナケレバナラヌ必要ナル人間デアルト思フノデアリマス、ソレ等ニ類スル者ハ澤山アリマス、殊ニ先年大本教ノ出口王仁三郎、アレガ第一審、第二審、第三審ト行キマシテ、大審院ニ於テ心神喪失者トシテ無罪ニナリマシタ、ソレガ今度無罪ニナツテカラ、又此ノ大本教ヲ初メマシテ、今日ハ不敬罪ト云フ犯罪デ以テ無期懲役ノ判決ヲ第一審ノ受ケテ居リマス、サウ云フヤウナ關係デ、是等ノ者ハ誠ニ誇大妄想狂デ、自分ハ天子ナリ、自分ハ正統ナリ、斯ウ云フヤウナ心持デ考ヘテ居リマシテ、白馬ニ跨ッテ青年團ヲ檢閲スルト云フヤウナコトヲシ、或ハ宮殿ニ準ヘテサウシテ祈願ヲヤリ、尙

妾ヲ數人有ツテ居ッテ、サウシテ電話ヲ一々架ケテ置イテ、電話デ以テ毎晩々々呼出シテ居ッタト云フヤウナコトモアルデアリマス、此ノ出口王仁三郎ノ如キハ心神喪失ノ點ニ在ルモ、是ガ若シ遺傳性デアラバ、ドウシテモ優生手術ヲ施スベキモノデアルヤウニ考ヘマス、是等ノ者ハ私ハ強制的ニヤツテ、サウシテ犯罪ヲ撲滅スル方ガ刑事政策上モ宜シ、又優生學上モ宜イ、誇大妄想狂ガ澤山出ルコトハ國家ノ爲ニ非常ニ憂フベキコトデアル、是等ヲ根絶スルト云フコトモ必要デハナイカ、一層進ンデ心神喪失者トシテ判決ヲ受ケタ場合ニ於テハ、優生手術ニ強制的ニ附スルト云フヤウナ御考ハナイモノデゴザイマセウカ、私ハ相當此ノ點ニ付キ憂ヘテ居ル者デゴザイマス、

○國務大臣(吉田茂君) 固ヨリ左様ナコトノ必要ナ場合ガアリ得ルコトハ、此ノ法案モ豫想シテ居ル譯デゴザイマス、既ニ御承知ノコトト思ヒマスルガ、第六條ニ「本人ノ疾患著シク惡質ナルトキ又ハ其ノ配偶者本人ト同一ノ疾患ニ罹レルモノナルトキ等其ノ疾患ノ遺傳ヲ防遏スルコトヲ公益上特ニ必要アリト認ムルトキハ、同條ノ規定ニ依ル必要ナル同意ヲ得ルコト能ハザル場合ト雖モ其ノ理由ヲ附シテ優生手術ノ申請ヲ爲スコト」ガ出來ルト云フコトニナツテ居リマスルノデ、御話ノ點ハ此ノ法條ノ運用ニ係ルコトト思フデアリマス、固ヨリ御示シノヤウナ場合ニハ本人ノ意ニ反シテデモ申請ヲシ、從ツテ其ノコトノ審査會決定致シマシタ上ハ、又本人ガ手術ニ反對致シマシテモ是ハ手術ヲセネバナラヌ場合ハ起ツテ參リマスル譯デアリマス、併シ此ノコトハ初メテ本法ヲ施行致シマスル我ガ國ト致

シマシテハ、出發ノ初メニ當リマシテハ何處迄モ慎重ナ心構ヘヲ以テ掛カル用意モ亦必要デアラウト考ヘルデゴザイマス、尙ソレ等ノコトニ付キマシテハ、本法運用ノ責任ノアリマスル行政官廳ニ於キマシテ、刑務所方面等トハ十分ナ連絡ヲ執リマシテ、左様ナ今御例示ニナリマスルヤウナ危險ナ分子ガ、子孫ヲ社會ニ擴ゲルト云フヤウナコトノナイ爲ニハ、刑務所ノ管理ニ當ラレル方ハ固ヨリコト、刑務所ノ係ノ醫師ノ方面トモ連絡ヲ執リ、其ノ申請責任者トシテ、刑務所ノ保健醫ヲ以テ責任者ニ指定スルト云フヤウナコトノ運用ニ依リマシテ、是非必要ナル向々ニ對シマシテハ、御話ノ中ニアリマスルヤウナ處置ヲ執ルコトモ必要デアラウ、斯様ナ考デ居ル譯デゴザイマス

○光行次郎君 今刑務所ノ保健醫ト仰シヤイマシタガ、其ノ條文ハ何處ニゴザイマスカ

○國務大臣(吉田茂君) ソレハゴザイマセスガ、第五條ニアリマスル「命令ヲ以テ定ムル醫師」ノ中ニソレヲ指定致サウ、斯ウ云フデアリマス

○伯爵柳澤保承君 私モ今ノ光行サンノ御説ニ全然同感ナンデアリマスガ、寧ろ此ノ第六條ヲモット強クスル必要ハアリハシナイカト思フデアリマス、専門家、例ヘバ精神病院ノ院長トカ何カガ、ソレヲ知ツタ場合ニハ或程度迄義務付ケル位ニシタラ宜クハナイカト思ヒマス、折角優生法ヲ御作りニナル以上ハ、ソコ迄行ッテモ宜イノデハナイカト私ハ思ヒマスガ、大臣ノ御意見ハ如何デスカ

○國務大臣(吉田茂君) 左様ナ場合ノ申請

ノ責任者ハ第五條ニ列舉ガアル譯デアリマスガ、只今光行委員ニ御説明ヲ申上ゲマシタ第五條ノ第一項「監護上ノ處置、保健上ノ指導又ハ診療ヲ爲シタル精神病院法ニ依ル精神病院若ハ保健所ノ長又ハ命令ヲ以テ定ムル醫師」ソレハ普通ノ場合ニハ本人ノ同意、又本人ノ年齢ガ一定年齢ニ達シテ居ラナケレバ、配偶者デアリマスルカ、或ハ其ノ父母ダトカノ同意モ得テ申請スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルデアリマスガ、斯様ニ精神病院ノ院長ナリ或ハ保健所ノ長ナリ、或ハ命令ヲ以テ定メラレタ醫師ト云フモノハ、個人ノ資格ト云フダケデナクシテ、ソレハ一種ノ公人デアツテ、其ノ職務ノ執行ト云フコトノ上ニ於テ責任ヲ持ッテ居リマスノデ、公益上特ニ必要アリト認ムルカ否カノ認定ト云フノハ、ソレ等ノ人々ガ其ノ認定ノ一番最初ノ申出ヲスル責任ヲ執ル譯デゴザイマスルノデ、其ノ理由ヲ附シテ優生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得」ト第六條ニハゴザイマスルガ、職務上必要デアルト云フ場合ニハ「爲スコトヲ得」ト云フコトハ、半面ニ矢張り公務的ナ務メトシテノ申請ヲスルト云フコトヲ含ンデ居ル譯デアリマス

○伯爵柳澤保承君 ソレガ今大臣ノ御話ノヤウニ必ズスルカドウカト云フノデス、モウ少シ醫師ナルモノニ責任ヲ持タシテ、「要ス」ト云フヤウナ意味ニ迄行ク必要ハアリマセヌカ、事實妥協的ナモノガアツテ、面倒臭イカラホツラカシテ置ケト云フ調子ノ場合ハゴザイマセヌカ

○國務大臣(吉田茂君) 斯ウ云フ申請ヲ爲シ得ルコトハ、「得」トアリマスノハ矢張り此ノ法文ノ建前ガ、任意ノ申請ト云フコトヲ建前ニ致シテ居リマスルノデ、ソレニ對ス

ル公益上ノ必要アル場合ノ例外デアリマス
ルノ得、トヤッテアリマスルコトヲ以テ十
分足リルト云フ考デゴザイマスルガ、是等
ノ申請權者ハ皆ソレノ又行政廳、或ハ刑
務所デアリマシタナラバ刑務所ノ長等ノ監
督下ニ公務ヲ執ツテ居ル人達デアリマスカラ、
公益上必要ガアルニ拘ラズ其ノ人が申請ヲ
シナイト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、
其ノ道々デソレノ其ノ人ヲ監督スル筋合
ガ決ツテ居ルノデアリマスカラ、職務スル
上ニ、判斷ヲ誤ラナイ上ニ於キマシテハ、
自ラ其ノ方法ハアリ得ルト考ヘルノデアリ
マス

○光行次郎君 モウ一點御伺ヒ致シマス、
此ノ任意ノ方法デ申請ヲ俟ツテ優生手術ヲ
オヤリニナル、此ノ方針デ今年度ノ御見込
ハドレ位ノ數ニ上ルト云フ御見込デアリマ
スカ、尙附加ヘテ、今年度ノ大體ノ豫算モ
承リタイト思ヒマス

○國務大臣(吉田茂君) 十五年度ニ於キマ
シテハ種々ノ準備ニ手續ヲ要シマスルガ爲
ニ、手術ヲ直チニ十五年度カラ行フト云フ
計畫ニナツテ居リマセヌ、準備ヲ致シマス
ト同時ニ、此ノ法案ノ趣意、昨日モ段々本
議場デ御質問ガアリマシタガ、此ノ趣意ヲ
徹底致スト云フコトニ先ツ全力ヲ注ギタイ
ト云フ考デアリマス、豫算ハ極メテ僅カ
デゴザイマス、三萬圓ノ豫算ガ御協賛ヲ得
テ居ルノデアリマス、是ハ執行スルニ付キ
マシテノ豫算デハゴザイマセヌ、大體此ノ
法律ノ適用ヲ受ケ得ル人數ノ見込ハ當局デ
樹テテ居ルノデゴザイマスガ、ソレ全部ニ
對シテ一齊ニ手術ヲヤルト云フヤウナコト
ハ初メテ本法ヲ執行スルト致シマシテハ、
チト行過ギニナル心配ガアリハシナイカト

思ヒマスカラ、明年度カラ此ノ實行ニ掛ル
ニ付キマシテモ、逐次漸ヲ追フテ進ミタイ
ト云フヤウナ考デ居リマス、ドウ云フ種類
ノ患者ガドノ位居ルカト云フコトニ付キマ
シテハ、調べノ概略ノモノガアリマスカラ、
ソレハ政府委員カラ御答ヲ申上ゲマス

○政府委員(高野六郎君) 目下ノ處推定ニ
過ギマセヌノデスガ、斯様ナ手術ヲ受クル
コトニ該當シヨウト思ハレル者ガ約二十五
萬人位ヲ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソ
レハ本法ニアリマス精神病ノ患者ノ數、又
精神低能者ノ數等ニ遺傳ノ率ヲ掛ケ合セマ
シテ、詰リ遺傳ニ依ツテ發生シマシタ精神分
裂病デゴザイマスルトカ、躁鬱性ノ病氣デ
ゴザイマスルトカ、癲癇デアリマスルトカ、斯様
ナモノ、又低能白痴ノ類デゴザイマス、
大體其ノ實數ニ遺傳ノ割合ヲ掛ケ合セマシ
テ、其ノ數ヲ總計シマシテ、約二十五萬ト
推算ヲ致シマシタノデゴザイマス、是等ノ實
地調査ハ此ノ制度ガ確立致シマシタ際ニ、
更ニ進ンデ能ク調べマシテ、又其ノ上ニ其
ノ遺傳者デアリマシテモ、自ラ進ンデ申請
スル者ノ數ガ幾許ニナリマスルカハ、國民
ニ對スル此ノ優生方面ノ知識ノ啓蒙ノ如何
ニモ依ルコトト存ジマス、是ハ漸ヲ追フテ
進ミマスル積リデ、豫算ニ付キマシテモ、
是ハ次ノ年度ニ於キマシテ適當量ヲ計上致
シタイト考ヘテ居リマス

○光行次郎君 政府デハ本年度ハ準備ニ取
掛ルト云フ御回答デアリマスガ、準備ト云
フノハ、所謂優生觀念ノ宣傳等モオヤリニ
ナルコトト信ジマスガ、尙ホ性能検査所ト
云フヤウナモノヲ設ケテ、サウシテ性能ヲ
検査スルヤウナ御考ヘハナイデセウカ、是
ハドウモ勝手ガマシイコトヲ申シマスガ、
私ハ此ノ頃不良少年ノ性能検査ト云フモノ
ガ頗ル必要ダト云フコトヲ痛感シテ居ルノ
デアリマスガ、此ノ不良少年ト云フモノハ、
年々八萬以上ヲ算シテ居ル、頗ル多キヲ算
シテ居ル、サウシテ其ノ少年ト云フモノノ
中デハ、頗ル危險ナ者ハ矯正院ニ送り、半
ノ者ハ此ノ團體ノ方デ收容シテ保護指導ヲ
シテ行ク、其ノ他家ニ還シテ父兄其ノ他
ノ者ニ委託シテヤラシテ居ル、色々方法ガ
ゴザイマスガ、矯正院及ビ私設團體ニ於テ
收容スル所ノ不良少年ノ中、半分位ハ性能
ノ缺陷ガアルモノノヤウニ思ハレマス、ド
ウシテモ指導ガ出來ナイ是等ノ者ハ私ハ檢
査ヲ致シマシタナラバ、概ネ遺傳性ノ者ダ
ラウト思ハレマス、環境ニ依ツテ、或ハ繼母
トカ、或ハ何トカ云フヤウナ、或ハ友人ガ
惡イト云フヤウナコトニ依ツテ、環境ノ如何
ニ依リ不良少年ニナツタ者ハ、是ハ善導シ
テ、サウシテ元ニ還ラセルコトガ出來ルノ
デアリマスガ、此ノ缺陷ガアル少年ハドウ
シテモ治スコトガ出來ナイ、一時ハ非常ニ
善イヤウニ見エマシテモ、直グ恐ルベキ犯
罪ヲヤツテシマフ、先達デモ私が管理シテ居
ル所ノ不良少年、是ハ實ニ女ノヤウナ體裁
ヲシテ、言フコトヲ能ク聞クモノデアリマ
スガ、時ニパツツト思ヒ切ツタコトヲヤ
リマスガ、之ガ逃走致シマシテ、近隣ノ家
ニ火ヲ放チマシテ、一萬圓バカリノ損害ヲ
與ヘマシテ、其ノ損害ノ賠償ヲ支拂ヒ、尙
ホ其ノ團體ノ退去方ヲ要求サレテ頗ル私ハ
困シテ居ル、サウ云フコトガ度々起リマシテ、
實ニドウモドウシテモ缺陷兒童ハ保護指導
ガ出來ナイト云フヤウナ者ガアルデアリマ
ス、是等ノヤウナ者ニ對シテ、性能検査ヲ
シテ、サウシテ之ヲ兩分シテ、是ハ缺陷兒

童デアアル、是ハ環境ニ依ツテノ不良少年デア
ルト云フコトヲ分ケマシテ、コッチノ方ハ適
當ノ保護指導ニ任ス、一方ノ方ハ是ハ強制
的ニ或所ニ留置スルトカ、或ハ優生手術ヲ
サセルトカ、色々ナコトヲシテ社會ノ害惡
ヲ除クコトガ出來ヨウト思フノデアリマス
ガ、斯ウ云フ者ニ對シテハ大臣ハ司法省ト
協調シテ性能検査所ト云フヤウナモノヲ御
建テニナル御考ハナイノデアリマセウカ

○國務大臣(吉田茂君) 明年度ニ於テ御協
賛ヲ得マシタ金額ハ、今申上ゲマシタヤウ
ナ頗ル貧弱ナモノデゴザイマスルカラ、其
ノ豫算ヲ以テサウ云フ施設ヲ設ケルト云フ
コトハムツカシイカト思フノデアリマスガ、
本法ノ施行ニ付キマシテハ、丁度御話ノヤ
ウナコトハ當局ニ於キマシテモ、豫メ非常
ニ必要デアルト云フコトヲ感ジテ居リマス
ル次第デアリマスノデ、矯正院、或ハ教護
院其ノ他ノモノト十分密接ナ連絡ヲ取ツテ、
本法ヲ運用スルト云フコトハ大切デアラウ
ト思フノデアリマス、最後ニ御話ニナリマ
シタヤウナ司法省方面ト十分連絡ヲ取ルト
云フコトハ、當局ニ於キマシテモ非常ニ大
切ナコトト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソ
レ等ノ打合ノ結果、何等カモツトシッカリシ
タ技術、學問ノ上ニ立チマシタ保護指導ノ
出來マスヤウナ機關ガ必要デアルト云フコ
トデゴザイマスレバ、是非サウ云フコトモ
致シタイ、斯様ニ考ヘマス

○光行次郎君 能ク分リマシタ、私ハモウ
是デ……
○侯爵小村捷治君 私ハ此ノ法案ニ現ハレ
テ居リマセヌコトデゴザイマスケレドモ、
相當重大ナ關聯ヲ持ツコトト思ヒマスノ
デ、去勢ノコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、

衆議院デモチヨットソレニ觸レテ居ルヤウ
ナコトガゴザイマスヤウデゴザイマスガ、
先程光行委員カラノ御話ニモゴザイマシタ
ヤウニ、マア變ナ話デ出齒龜云々ト云フ言
葉ヲオ使ヒニナリマシタガ、此ノ性的犯罪
ヲ非常ニ度々行ウヤウナ人間ニ關シテ、既
ニ或ハ司法當局ト或ハ衛生當局トノ間ニ何
カ諒解ガアツテ、實際ニ於テ行ハレテ居ル
カモ存ジマセヌガ、私共門外漢デ存ジマセ
ヌノデ、安心ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思ヒマ
スノデゴザイマスガ、實際サウ云フ者ハ到
底斷種ダケハドウニモナルモノデハナカ
ラウト思ヒマスガ、私共全クノ門外漢デア
リマシテ、之ヲ今朝ホド拜見シタノデゴザ
イマスガ、「優生手術ノ影響ニ關スル調査」ト
云フ中ニゴザイマスガ、確カ「アメリカ」カ
何カノ例デゴザイマセウガ、斷種後其ノ性
慾ガ昂進スルト云フヤウナ例ガ多ク載ッテ
居ルヤウデゴザイマス、減退シタ者ヨリモ、
昂進シタ者ノ方ガ殖エテ居ルヤウニ思フ、
斯ウ云フヤウナコトデハ、斯カル惡性ヲ持
ツ人間ニ關シテハ到底對應スベキモノデヤ
ナカラウト思フノデゴザイマス、斯ウ云フ
點ニ於テ去勢手術迄ノ御考ヲ……少クモ將
來ニ於テ御實行ナサル御積リガゴザイマセ
ウカ、其ノ點ヲ先ヅ一ツ伺ヒタイト思ヒマ
ス、ソレカラモウ一ツハ只今ノ御話デ、此
ノ十五年度ハ僅カニ三萬圓ノ豫算ヲ以テ準
備ヲナサル、是ハ御尤モデゴザイマスルガ、
此ノ優生法ヲ適用スベキ、優生法ノ對象ト
ナルベキ人間ノ數ガ二十五萬人ニモ上ッテ
居ルト云フ御推定ダサウデゴザイマスガ、
之ヲ實行致シマスニハ相當ナル豫算ヲ必要
トスルコトト思ヒマス、ソレデ其ノ曉ニ於
ケル、即チ十六年度以降ニ於ケル大體ドノ

位ノ費用ヲ見積ラレテ居ルモノデゴザイマ
セウカ、是モ併セテ伺ヒタイト存ジマス
○國務大臣(吉田茂君) 本人ノ性格ト言ヒ
マスカ、醫學的ニ言ッテ疾患如何ニ依リマシ
テハ其ノ惡性ノ甚ダシキ者ニ付キマシテ
ハ、時トシテ去勢ヲ必要トスルト云フコト
ハ是ハ有リ得ルコトト考ヘルノデゴザイマ
スガ、本法ハ優生手術ノ限度ヲ以テ之ヲ規
定致シテアリス、ソレハ遺傳防止ト云フコト
ヲ主眼ニ致シテアル譯デアリマス、優生手術ノ
結果ガ去勢トドウ違フカ、ドウソレハ本人
ノ體質ノ上ニ現レテ來ルカト云フヤウナコ
トニ付キマシテハ、私カラ御答ヲ申上ゲルコ
トモ不適當カト思ヒマスカラ、專門ノ政府委
員カラ御答ヲ申上ゲルコトニ致シタイト思
ヒマス、尙之ヲ實行スルニ付キマシテハドレ
位ノ豫算ヲ用意シテアルカト云フ御尋デゴ
ザイマスガ、豫算ノ金額、規模自體モ今後
一箇年度ノ間ノ諸種ノ準備ノ結果ニ依ッテ
決ル譯デアリマスカラ的確ノ數字ハ只今申
上ゲラレマセヌガ、大體百萬圓見當位ヲ一
箇年度要求致サネバナラスコトニ相成ルノ
デハアルマイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、
遺傳ト去勢トノ關係ニ付テハ政府委員ヨリ
御答ヲ申上ゲマス

○政府委員(高野六郎君) 取敢ズ優生政策
云々ノ爲ニ此ノ制度ヲ設ケマスルノデ、去
勢迄致シマセヌデモ目的ヲ達シ得ルト考ヘ
テ居ル次第デアリマスルガ、性慾昂奮性ヲ
帶ビテ居リマスヤウナ者ニ對シテ刑事政策
或ハ保安處分ト云フ意味合カラ其ノ性慾
ノ鎮靜ヲ期シ、同時ニ斷種ニ向フト云フ意
味合ニ於テ去勢ノ手術ヲ或場合ニハ用ヒル
コトガ便宜ダハナイカト云フコトハ研究ヲ
要スル點デアルカト考ヘテ居リマス、差當
リノ問題トシマシテハ先ヅ去勢ニ非ザル斷
種法ヲ以テ此ノ仕事ヲ始メマスルコトガ妥
當デアルト云フヤウニ一應考ヘタノデアリ
マス、尙御尋ノゴザイマシタ中ニハ、優生
手術ヲ受ケタ結果性慾ノ昂進スル者ガ相當
アルノデハナイカト云フ點デゴザイマスガ、
此ノ調査ニハ一應左様ナ數字ガ出テ居ルノ
デアリマスルガ、是ハ手術ヲ受ケマシタ直
後ノコトガ重ニ現レテ居ルト思ヒマスルノ
デ、手術ヲ受ケマシテ稍、時ヲ經マサルト
其ノ狀態ガ鎮定致シマシテ、性慾ハ別ニ此
ノ手術ノ爲ニ高マルト云フコトガナク、又
必ズシモ低クナルト云フコトモゴザイマセ
ヌ、現狀ノ維持デアリマシテ、所謂性的生
活ニ支障ノナイト云フコトガ從來ノ醫學ノ
經驗上定説トナッテ居ルヤウニ存ジテ居リ
マス

○侯爵小村捷治君 今ノニ關聯致シマシテ
續イテチヨット伺ヒタイノデスガ、私ノ伺ッ
タノハ何モ此ノ法案ハ勿論斷種ニ限ラレテ
居ルコトハ申上迄モナイノデアリマスケレ
ドモ、當局トシテソコ迄御考ニナッテ居ル
ノデアラウカト云フコトナシデゴザイマス、
ソレカラモウ一ツ豫算ノ點デゴザイマスガ、
十六年度ガ約百萬圓デ足リルト云フヤウナ
御話デゴザイマシタガ、左様ニ小額デ之ガ
行ハレ得ルモノデゴザイマセウカ、何ダカ
ドウモ私共門外漢ニハ分リ兼ねルノデゴザ
イマス、モウ一度其ノ點ニ付テ伺ヒマス
○國務大臣(吉田茂君) 前段ノ今ノ去勢ノ
コトニ付テ、其ノ必要ガアルト云フコト迄
當局ハ考ヘテ居ルデアラウカト云フ御尋ニ
對シマシテハ、ソレハ考ヘテ居ル次第デゴ
ザイマス、但シ其ノコトハ只今モ政府委員
カラ申シマシタ通りニ刑事政策、社會保安
ト云フコトガ主眼ニナッテ來ル譯デゴザイ
マスルカラ、必ズシモ厚生省ガ主管廳デナ
イノデアリマスルガ、サウ云フコトハ考ヘ
ネバナラスコトデアルト斯様ニ考ヘテ居リ
マスノデ、其ノ方面ニ付キマシテハ本法ノ
實施ト關聯致シマシテ、司法省ナリ或ハ警
察當局ノ方面ナリト十分ナ聯絡ヲ保チツ、
必要ニ應ジマシテ何等カノ施設ガ必要デア
ルト云フコトニナレバ考慮スルコトガ大切
デア、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ
豫算ノコトデアリマスガ、是モ亦サウ云フ
要求ハ致シテ居ル譯デゴザイマセヌノデア
リマスガ、唯的確ナコトヲ申上ゲラレマセ
ヌガ、推定人員二十、五萬人アルト致シマシ
テ、此ノ二十五萬人ヲ極メテ短少ノ期間ノ
間ニ皆優生手術ヲシマフト云フヤウナ
コトハ、本法初メテノ實施トシテハ過チヲ
犯シ易イヤウナ危險ガアリハシナイカト思
フノデアリマシテ、實施上漸ヲ逐ウテ最モ
有効適切ナル、安全ナ方法ヲ擴張スル必要
ガアレバ逐次擴張シテ行クコトガ必要デア
アルマイカ、左様ナ意味ノ下ニ大體初年度
百萬圓位デ大體ノ整備ヲシテ、其ノ實行ノ
結果ニ基イテ又次年度カラノ必要額ヲ考ヘ
ルト斯ウ云フヤウナコトデ進ム、裕リヲ持ッ
タ心構ヘガ必要デアルト云フヤウナ意味デ
十六年度ノ所要額ヲ大體百萬圓位デアルト
斯様ニ推算ヲ致シテ居ル次第デアリマス
○侯爵小村捷治君 只今ノ御答ノ内デ豫算
ノ點ニ付キマシテハ了承致シマシタ、漸ヲ
逐ウテナサルコトハ極メテ賢明ナコトダト
存ジマス、唯一方第一ノ方ノ質問、所謂去
勢ノ點ニ付キマシテ、是ハ實ハ厚生省ノ所
管ト申スヨリモ寧ロ司法省ノ所管ニ屬スル
刑事政策ノ問題デゴザイマスケレドモ、國

務大臣トシテノ吉田閣下ニ伺ツタノデゴザイマスカラドウカ其ノ點御含ミヲ願ヒマス、ソレカラ只今デモ實ハ刑事政策的ニ左様ナコトヲ實行シテ居ルモノデゴザイマセウカ、餘リニ不良ナル犯罪者ニ對シテハ……其ノ處ヲ私念ノ爲ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 未ダ其ノ實際ニ行ツテ居リマスカ否カハ承知致シテ居リマセヌ

○侯爵小村捷治君 ソレデハ恐レ入リマスガ、司法省ノ何カ關係等デゴザイマセウカラ、何カ書類ダケデモ拜見出來レバ結構ダト思ヒマス、私ハ是デ終リマス

○政府委員(高野六郎君) チョット申添ヘマスガ、醫療ノ目的ノ爲ニハ時ニ斯様ナ手術ハ行ツテ居ルノデアリマス

○侯爵小村捷治君 刑事政策的ニハ……

○政府委員(高野六郎君) 其ノコトニ付テハ未ダ承知シテ居リマセヌ

○侯爵小村捷治君 其ノ點モ只今委員長カラモ御注意ガアリマシタガ、書類ヲ唯私ノ方ニ戴クダケデナク、此處ヘドナタカオイデ下サルナレバ尙結構ダト思ツテ居ルノデアリマス、ドウカ御了承ヲ願ヒマス

○男爵小池正晃君 大體論ニ付テ質問ヲスルヤウニト委員長カラノ御示シデアリマスルカラシテ、此ノ法案ノ根本トナル點ニ付テ若干御尋ネシタイト思ヒマス、要スルニ日本ノ人口ヲ益、増加サセ、其ノ質ヲ良クスル爲ニ本法案ガ提出サレタヤウデアリマスガ、精神病ニ關スル醫學ノ研究ト申シマスカ、學問ハマダ非常ニ進ンデ居ラナイ狀況デアアルノデアリマス、又本法案ガ社會的ニ影響スル所ノ點ガ非常ニ大キイ點ガアルコトニ鑑ミマシテ、ナカ／＼一年ヤニ

年ノ研究デ御調査ナスコトヲ直グ出スト云フコトハ若干何トナク大膽ナヤウナ氣分ガスルノデゴザイマス、折角御調査ナスコトデアリマスカラ遺漏ノナイコトトハ存ジマスガ、今日ノ醫學上ノ……優生學上ト申シマスカ、醫學上ト申シマスカ、精神病ノ中ノ遺傳性精神病ト云フモノハドウ云フ種類デアリマスカ、大體ノ點ヲ政府委員ノ方カラデモ御伺ヒシタイト思フノデアリマス、大體ノ點ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 遺傳ノ關係ガ最も著シキ精神病ト致シマシテ、精神分裂病、躁鬱病、癲癇、ソレカラ精神薄弱モ類似ノモノデアリマスノデ、此處ニ加ヘテ申上ゲマス、是等ノモノハ相當ノ強サニ遺傳ヲ示シマスノデ、資料ノ中ニモ差上ゲテ置キマシタデスガ、資料ノ二十番ニゴザイマスノガ大體其ノ點デゴザイマス、是ハ我が國ニ於キマシテハ割合調査ガ尙十分申上ゲ兼ネルカモ知レマセスガ、最近ノ調査ヲ申上ゲマスト、全國ノ精神病者ノ家系約三千ニ付キマシテ調査ヲ致シマシタ結果、是ハ極ク要點ダケ申上ゲマスガ、精神分裂病ト云フ病氣デ子供ニ遺傳スルノガ二〇「パーセント」餘、躁鬱病デアリマス、其ノ子ニ現レマスノガ約一〇「パーセント」、ソレカラ癲癇デアリマスガ、矢張り其ノ癲癇ニモ遺傳デナイノガアリマスガ、所謂遺傳性癲癇ト申シマスモノデ、詰リ癲癇ノ中デ調べテ見マスト云フト遺傳スルモノガ一〇・九六「パーセント」ト云フ數字ガソコニ出サレテゴザイマス、低能者デゴザイマス、子供ニ現レマスノガ三八・五六「パーセント」ト云フヤウナ譯デゴザイマス、是ハ發病シタモノヲ取りマシタノデアリマスカラ、後ニ

發病スルモノ或ハ病質性格ヲ持ツテ居ルト云フヤウナモノヲ加ヘマスト尙數ガ多クナルヤウナ譯デアリマス、此ノ數字ハ尙十分デハゴザイマセスガ、外國ニ於ケル調査ト對比シマス、略「ドイツ」等ニ於キマシテ可ナリ廣範圍ノ調査ヲシタモノト稍、合致スル如ク思ハレマスノデ、我が國ニ於キマシテモ是等ノ疾病ニ於テ遺傳ガ相當強度ニ現レマスコトハ、一般ノ精神病學界ノ定説ト一致スルモノト斯ウ考ヘテ宜シイヤウニ存ズルノデアリマス

○男爵小池正晃君 サウスルト現今ノ學問ノ進歩ニ於テノ遺傳性ト云フノト、將來發達致シマシテ百年モ經ツテ遺傳性ノ病氣ガ違ツテ來ルヤウナ場合ガアラウト思フ、サウ云フ場合ハ自然ト其ノ實行上ニ於テ段々ト推移シテ行クヤウナ點ガアリハセヌカト思ハレノデスガ、例ヘバ是カラ今申サレタ病氣ノ遺傳性ト、現在ニ於テハ遺傳性ト考ヘラレテ居ルモノガ學問ノ進歩デソレガ遺傳性デナクナツタ場合ハ本法案カラ除外サレル譯デセウネ

○國務大臣(吉田茂君) 其ノ點此ノ法律ノ運用ノコトモ併セテ申上ゲテ置イタ方ガ御理解ニ資シ易イカト思フノデアリマス、本法ヲ運用シテ優生手術ヲ執行スルト云フコトニ付キマシテハ、固ヨリ其ノ基礎ニ學問ト云フコトガアリマスルト同時ニ只今ノヤウナ遺傳率ト云フヤウナコトモ學問的ノ研究ノ結果出テ來ルノデアリマス、現實ニ此ノ申請ヲ受理シ或ハ公益上必要アリトシテ申請ナクモ之ノ手術ヲ行フト云フコトニ付キマシテハ、其ノ本人ノ具體的ノ家系ニ付キマシテ出來得ル限りノ精密ナ取調ヲ致シマシテ、現ニ遺傳シテ居ルカ居ラナイカ、

其ノ血統ノ中ニドウ云フ風ニソレガ現レテ居ルカト云フコトヲ一々ニ見定メマシテ、然ル後ニソレ等ノ資料ニ基イテ手術ヲ行フベキヤ否ヤヲ審査會ノ議ニ付シテ決定シテ行クノデアリマス、從ツテ單純ニ學問ノ進歩ニ因ツテ内容ガ變ルト云フコトヨリハ運用自體左様ナ現實ノ遺傳現象ニ立脚致シマシテ判定ヲ下ス譯デアリマス、尙御尋ノ點ハ將來學問ノ進歩ニ因ツテ、今日遺傳性ト考ヘラレテ居ル病氣ガ遺傳性デナイト云フコトガ立證サレタナラバ、本法案ノ内容ガ變ルカト云フコトガ御尋ノ主眼デアッタヤウデアリマスガ、遺傳性ノ精神病ト云フモノガアリ、ソレハ此處ニ豫定シテアルヤウナモノハ是ハ今日ノ學問デ立證セラレテ居リ、恐ラクサウ云フモノハ事實ニ現レテ居ルノデアリマスカラ將來變ラスノデヤナイカ、變リ得ルトシマスレバ精神病ノ治療ト云フモノガ非常ニ進歩致シマシテ、今迄ハ精神病デ遺傳シテ居ツタケレドモ、治療ノ結果本人ノ症狀ガ治ルバカリデナク、遺傳質ヲ子孫ニ遺サズニ濟ムト云フヤウナ有難イ時世ニナツテ參リマスレバ、ソレハ本法案ノ適用ノ必要ガナイヤウナコトニナルカモ分ラナイト思ヒマスガ、ナカ／＼サウ云フモノハ今日ニ於テハ期待シ難イコトデアアルマイカト、斯様ナ見透シノ下ニ本法ヲ執行シヨウト云フ譯デアリマス

○男爵小池正晃君 大臣ノ仰シヤルコトハヨク了解致シマシタ、精神病ノ方ハサウト致シマシテ、遺傳學ノ方ノ進歩ト云フモノハ此處十年位ノモノデヤナイカト思フノデゴザイマス、此ノ方モ段々ト學說ガ變ツテ來ルノデハナイノデアリマス、其ノ點モ

本法案ニ影響スル所ガ大キイノデアリマス

カラ、其ノ根本ヲ成ス遺傳學ノ現況ト申シマスカ、ソレハナカ／＼變ルモノデヤナイト云フヤウナ確實ニ御調査ナスタノデアリマセウケレドモ、サウ云フ遺傳學ニ付テノ御所見ヲ若干承リタイト思ヒマス

○國務大臣(吉田茂君) 是ハ技術的ニ政府委員カラモ申上ゲネバナラヌコトデアルト思ヒマスガ、私ノ本法案ヲ御審議願ヒマスルニ付キマスデノ、私トシテノ心構ヲ先ヅ第一ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、學問ノ通歩ト云フコトニ付キマシテハ、私共ト致シマシテ、此ノ鐵則ハ變ラヌノダト云フヤウナコトヲ容易ニ考ヘナイ方宜イノダト思ヒマス、御尋ネノヤウニ、學問ノ進歩ハ無限ニ續クモノデアリ、新シイ説ト云フモノヲ必ズシモ今迄ノ學理デサウ云フコトハナイカラ、サウ云フコトハアリ得ナイノダトシテ輕率ニ退ケルト云フコトヲシテハナラナイノダト思ヒマスシ、從ッテ遺傳學ト云フヤウナモノモ、今後大イニ發達スルモノト覺悟シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、唯日本ノ遺傳學ナリ、優生學ハ今迄世間ノ注目ハ割合ニ引カナカタノカモ知レマセヌガ、其ノ道々ニ於キマシテハ、隨分優レタ研究モ取り行ハレテ參ッテ居ルヤウニ私ハ承ッテ居ルノデアリマス、併シ或ル特殊ノ學者ガ非常ニ優レタ研究ヲスルト云フコトダケヲ基礎ニスルト云フコトハ、行政ノ實際トシテハ行キ過ギナル心配モアルカモ知レマセヌガ、兎ニ角日本ノ遺傳學ナリ、優生學ナリニ付テノ研究程度ハ、一般世間デ考ヘテ居ルヨリモ遙ニ程度ノ高イモノデアルト云フコトハ言ッテモ宜イノデアルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ別ニ致シマシテ、今日普通ニソレ／＼其ノ

方面ニ心掛ケテ居ラレル方々ノ一致シタ意見、通説ト申シマスルカ、サウ云フモノノ基礎ノ上カラ申シマシテ、本法案ニ書イテアルガ如キ方法ヲ以テ、優生手術ト云フモノガ取り行ハレマスニ付テハ、此ノ運用サヘ慎重ニ致セバ、誤リナク日本ノ優生問題ニ付テノ一ツノ新シイヤリ方トシテノ效果ヲ擧ゲテ、是デ行過ギデハナイト云フ程度ノモノヲ此ノ條文ニ纏メマシタ次第デアリマス、將來學問ガ進歩發達致シマスルト、又或ハ此ノ法案ノ内容ニ變更ヲ加ヘルコトガ必要デアルト云フコトヲ認メルカモ分リマセヌガ、之ヲ斷行シタカラ、悔ヲ後ニ胎スト云フ心配ハナイヤウニ、ソレガ爲ニ稍、其ノ方面ニ確信ヲ有ツタ方カラ見レバ、或ハ手緩イト云フ印象ヲ與ヘルデアラウカト思フノデアリマスガ、左様ニ彼此考ヘ併セマシタ上デ、此ノ程度ノモノハ必要デアリ、行キ過ギデナイト思ツテ、此ノ法案ハ纏メタト考ヘテ居ルノデアリマス、學問ノ進歩ニ依リマシテハ、此ノ法案ノ中ニ書イテアルコトデモ、是カラ緩ンシテモ宜イト云フコトモ出マセウシ、或ハ先刻來ノ意見ニモアリマシタガ、モット法律ヲ強メタ方宜イト云フヤウナコトモ出テ參ルデアラウト思フノデアリマス、本法ヲ實施スルコトニ依リマシテ、其ノ方面ノ學問ノ上ニモ、必ズ寄與シ得ル貴重ナル資料ト云フモノガ、是カラ取扱ハレルト云フコトニモ期待ヲ掛ケテ居ル譯デアリマス

○子爵實吉純郎君 國民優生法案ト云フ名前デ出テ居リマスガ、内容カラ申シマス、所謂優生手術ヲスル法案ト云フ風ニ解釋ガ出來マス、全般ニ互ッテ優生ノコトニ對シテ色々ナ施設ガ此ノ中ニ入ッテ居ルヤウデハナササウニ思ヒマス、ト云フノハ優生ノ方ノ、害ノ方ヲ此ノ優生手術デ取除イテ行クト云フコトガ、此ノ中デハ主眼ニナッテ居ル、其ノ別ノ方面、即チ優生ノ良イ方面ヲドシ／＼増シテ行クト云フ施設ハ、此ノ中ニチットモ入ッテ居リヌマセヌ、唯セイ／＼故ナク妊娠ノ中絶ヲスルト云フコトニ對シテ制限ガ出テ居ルト云フダケデアリマス、其ノ外ニハ何シモ優生學ノ方カラ行ッテ良イダラウト云フヤウナコトハ、此ノ中ニ入ッテ居リマセヌヤウニ考ヘマス、農産ヤ畜産ノ方、サウ云フ方面デハ色々ナ優良ナ種類ヲ指定シテ、ソレヲ殖ヤシテ行クト云フヤウナ方面ガ可ナリ發達シテ居ルヤウニ私達ハ聞イテ居リマスシ、實際米ダトカ色々ナモノニ付テ、サウ云フモノガドシ／＼出來テ居ル、斯ウ云フヤウナ研究ガ人類ニハナカナカ出來難イモノト承知シテ居リマスガ、コッチノ方面ニ對スル色々ナ研究ダトカ云フコトニ對シテ、政府ノ方デ力ヲ入レニナルト云フ氣持ガオアリデアリマス、ドウデアリマス、遺傳ノ素因ガ人工的デハ増減出來ナイ、即チソレガ遺傳トシテイツ迄モ續イテ行クト云フコトニ今ハナッテ居リマスケレドモ、サウデアリマス、惡イ素質ガ昔カラ、人間ノ初メカラソコニ入ッテ居タモノデアアル、或ハ初メハサウデナク、突然サウ云フモノガ入ッテ來タ、又ソレヲ除クト云フ何シカ方策モ考ヘラレナイコトハナイト思フ、ソレハ矢張り突然消エルモノデアリマス、サウ云フヤウナ所ノ研究、是モ非常ニ必要ナコトデヤナイカト思ヒマス、サウ云フヤウナ研究ノ方ハ遺傳學ノ方デ、大イニヤッテオイデニナルト思ヒマス、今迄デハ動物ソレカラ植物ト云フヤウナ方面デ、可ナリ

研究ガ進ンデ居ラレルヤウデアリマス、人間ノコトニナルト、サウ云フ方面ガ非常ニ手緩イ、是ハ今後ノ……「ゼネレーション」ガ早イノデアリマス、可ナリ年月ヲ經ッテ來ナケレバ變ッテ來ナイト云フコトモ關係シマセウガ、矢張りソレデモ斯ウ云フヤウナ法律ガ何年モ、百年先キノコトヲ考ヘテヤルコトデアリマスルカラ、矢張りサウ云フ方面ノ研究モ非常ニ年月ガ掛ルカラ、是ハヤルコトハイケナイト云フヤウナ考デナク、矢張り斯ウ云フヤウナ百年モ二百年モ掛ッテヤルト云フ研究ヲ始メテ居ラレル方ガ宜イノデヤナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、斯ウ云フヤウナコトヲ優生法案ニ付テ考ヘマス、ソレカラ優生ノ優秀ナ素因ヲ持ッテ居ル其ノ遺傳素ヲ持ッテ居ル系統デゴザイマスガ、サウ云フ系統ガアリマシタラ、ソレニ對シテノ調査、サウ云フモノモ十分ニナサツテ、サウ云フモノヲ尊重シテ保護シテ行カウト云フヤウナコトモ、此ノ法案ノ中ニ含ンデ居タ方宜イノデヤナイカト云フ氣ガ致シマス、唯單ニ優生法案ト云フト、看板ガ非常ニ立派デアリマスケレドモ、内容ハ其ノ優生法案ノ全部ヲ現ハシテ居ルノデヤナイト云フ氣持ガスルノデアリマス、其ノ點ヲ一ツ……

○國務大臣(吉田茂君) 誠ニ剴切ナ御意見ト承リマス、此ノ法律ハ法律ノ條文ニ依ルニ非ザレバ、優生問題ノ中デ實行シ得ナイモノヲ規定シテアル譯デアリマス、是ハ昨日本會議デ御答ヲ申上ゲマシタヤウニ、單ニ本法ノ規定ノミニ依ッテ日本國民ノ優生ノ實ヲ擧ゲ得ルト云フ風ニ、當局ハ固ヨリ期待シテ居リマセヌノデ、此ノ法律ノ施行ト併セマシテ、種々ノ研究ガ行ハレ、方策

ガ行ハレルト云フコトニ依ッテ、本法ノ目的
トスル第一條ニ書イテアリマスコトモ、初
メテ完畢ヲ期シ得ル譯デアルト考ヘテ居ル
ノデアリマス、御示シニナリマシタヤウナ
優生學ノ見地カラ研究、研究自體ハソレハ
他ノ動植物ニ對スルヨリモ誠ニ行ヒニクイ
コトデアリマスケレドモ、是モ其ノ道ノ學
者ガ貴重ナ研究ヲ今日進メラレツ、アルト
思フノデアリマス、併シハ研究ノ結果ヲ
實際ニ應用スルト云フコトニナリマスル
ト、動物ヲ改良シタリ、或ハ家畜ヲ改良シ
タリスルヤウナ風ニ、自由自在ニハ參リ兼
ネルコトデアリマスシ、又餘リ自由自在ニ
致スコトハ、人類ノ優生ト云フコトカラ致
シマス、是ハ不適當ナコトカモ知レマセ
ヌカラ、其ノ行ハレマス方法ニ付テハ、能
ク能ク矢張り民族ノ改善ト云フコトニ付キ
マシテノ獨自ノ心構ガ、科學的研究ト併セ
テ必要デアラウカトス様ニ思フノデアリマ
ス、デソレ等ノ研究ヲスル研究機關ヲ拵ヘ
テ、矢張り其ノ方面ノ世話デモスルノカ、
ソレハシナイ積リデアルカト云フ御尋デア
リマスガ、是ハ大イニヤル積リデ居ルノデ
アリマス、御承知ノヤウニ厚生科學研究
所、是ハ在來ノ營養研究所等ト統合致シマ
シテ、少シク規模ヲ擴張致シマシテ、彼處
ノ中ヲ色々部屬ニ分ケマシテ、アノ中ニ民
族優生部ト云フモノガ出來マシテ、其處ニ
於キマシテハ、專ラ只今御話ニナリマシタヤ
ウナ意味ノ研究ヲシ、サウ云フ方面ノ指導
能力ノアル人材ヲ養成スルト云フヤウナコ
ト迄モ、手ヲ擴ゲテ參リタイト思ッテ居リ
マス、今日既ニ十分ニ陣立ガ出來テ居ルト
ハ申上ゲ兼ネル狀態デアリマスガ、サウ云
コトヲ目標ト致シマシテ、厚生科學研究所

ノ仕事ニハ、私大イニ力ヲ入レサセテ戴キ
タイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙
實地ノ應用ト致シマシテハ、彼處ヲ中心ニ
デモ致シマシテ、一ツ結婚問題ニ付キマシ
テ、優生學ノ見地ニ基イタ實際ノ御相談ニ
應ズル、左様ナコトモ一ツ是非始メテ見タ
イ、例ヘバドウ云フ體質、ドウ云フ家系ノ
方々ガ配偶ヲ求メラレト云フ時ニハ、ソレ
ニ對シテハドウ云フ體質ノドウ云フ家系ノ方
方ガ最モ優生學的ニハ適當デアラウト云フ
ヤウナコトハ、今迄ノ縁組ニ付テハ殆ド考ヘ
ラレテ居ラナイノデアリマス、申サバ結婚ニ
對スル科學的ナ基礎ト云フモノガ、殆ド今
迄ナイノデアリマスガ、今日斯様ニ學問モ
進歩致シツ、アリマスルニ拘ラズ、其ノ方
面ノ研究ガ國民ノ實生活ノ上ニ活用セラレ
ナイト云フコトハ、誠ニ勿體ナイノデアリ
マスカラ、左様ナ實際方面ニモ過チノナイ
方法デ、無論輕卒ニヤツテハナラナイコトデ
アリマスカラ、過チノナイ方法デ十分實際
方面ニモ寄與致シタイ、ソレ等ハ別ニ法律
ノ強制規定ヲ要シナイコトデアリマスカラ、
本法案ノ規定ト併行致シマシテ、實際ノ仕
事トシテ大イニ力ヲ注イデ進メテ參リタイ
ト、斯様ニ思ッテ居ル次第デアリマス

○子爵實吉純郎君 今ノ御話ハ大體諒承致
シマシタノデゴザイマスケレドモ、今迄モ
兎角惡イモノガ殖エ易クテ、良イ種類ノモ
ノハ殖エ惡イ、是ハ生物ノ方デモ色々ナ例
ガ澤山アルノデゴザイマスガ、人類デハ一
層ソレガヒドイノデハナイカト思ヒマス、良
イ種類ノ者ガ段々ニ滅シテ來ル、昔名人ノ出
タ家ト云フモノハ大抵後ハ續イテ居ナイト
云フヤウナコトガ隨分アリマス、マアサウ
云フ名人ガ出タトカ云フヤウナノハヤハリ

天才デアリマスカラ、斯ウ云フ家ノ保護ト
言ヒマスガ、今御シヤツタヤウナ結婚ノ方ノ
色々ナ指導モ爲サルトカ云フヤウナコトヲ
シテ、其ノ良イ種類ヲ保護シテ行クト云フ
方ニ十分力ヲ入レニナツタ方ガ宜インデ
ヤナイカ、之ヲ一ツ御聞キ致シタイノデゴ
ザイマス

○國務大臣(吉田茂君) 誠ニ御尤モト存ジ
マス、左様ナ良イ種類ト云フモノハドウシ
テモ絶ヘ易クナリ、惡イ種類ガ之ニ反シテ
蔓リ易イト云フコトハ、ソレハ實際現象ト
シテモ現ハレテ居ルト思フノデアリマス、
サウ云フコトデナクテ、良イ種族ノ扶植ト
云フモノハ益、盛ニシテ行キ、惡イ種族ハ段
段ニ少クナツテ行クト云フコトノ爲ニハ、單
ニ此ノ法ダケハ足リナイノデアリマスカラ
ラ、色々サウ云フ所謂逆淘汰ト云フヤウナ
現象、之ニ對スル方策ト云フモノハ、技術研
究ノ上ニ於キマシテモ、行政ノ運用ノ上ニ於キ
マシテモ、モットノ力ヲ入レル必要ガアラ
ウト云フコトヲ、當局ト致シマシテモ痛感
致シテ居ル次第デアリマス、出來ルダケ其
ノ方面ニモ種々施設ヲ致シタイト思ヒマス

○侯爵小村捷治君 只今ノ實吉子爵ノ御質
問ニ關聯シマシテ、私一ツ希望ヲ申述ベタ
イノデアリマス、ソレハ實吉子爵モ仰セラ
レマシタ通り、此ノ國民優生法ト云フモノ
ハ、甚ダ失禮デアリマスガ、少シク鳥辭ガ
マシイ程ノコトデ、今度ハ謂ハバ斷種許
可法ノ如キモノト思ヒマス、是ハ謂ハバ消
極的ノ優生手段ダト思ヒマスガ、一方デ厚
生省ノ現ニ色々實施ナスツデオイデナリ
マス積極的ノ優生手段、サウ云フコトニ付
テモ二三御話ガアリマシタガ、サウ云フコ
トノ方策ニ付テノ何カ書類ノヤウナモノヲ

○國務大臣(吉田茂君) 只今ノ御意見ハ、
今後ニ計畫ヲ致シタイト思ヒマスモノガ大
部分デゴザイマスガ、ソレ等ヲ併セマシテ、
現在差上ゲデアリマス資料ノ外ニ、取纏メ
テ差上ゲタイト思ヒマス

○委員長(子爵野村益三君) 先刻小村侯爵
カラノ御尋ネデシタガ、司法當局者ガ見エ
マシタノデ御説明ヲ願ヒマス

○說明員(清原邦一君) 御許シヲ得テ御説
明申上ゲタイト思ヒマス、刑事政策的ニ去
勢ヲ行ツテ居ルカドウカト云フ問題ハ極メ
テ重要ナル問題デゴザイマシテ、或種ノ學
者ニ於テハサウ云フ風ナ説ヲ唱ヘラレテ居
ル方モアルヤウニ拜承シテ居リマスガ、何
分去勢ハ斷種ト違ヒマシテ、其ノ本人ニ與
ヘル生理的ノ影響モ極メテ重大デアリマス
シ、社會的ニ見マシテモ篤ト慎重ニ檢討ヲ
加ヘナケレバイケナイト存ジマシテ、只
今ノ所ハ全然去勢ハ我が國ニ於テハ實施致
シテ居リマセヌ、尙保安處分ノ問題等ニ付
キマシテハ刑法改正委員會ニ於テ研究中デ
アリマスガ、去勢ノ點ニ付テハ未ダ觸レテ
居リマセヌカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○侯爵小村捷治君 ソレデハ司法省ノ説明
員ノ方ガ御見エニナツテ居ル間ニ一二伺ッテ
置キタイ、極ク簡單デアリマス、先程申述
ベタ私ノ意味ハ一體殆ド生レナガラニシテ
犯罪性ヲ持ツテ居ル者ガ大分アル、殊ニソレ
ガ性的犯罪ニ屬スル場合ニハ其ノ及ボス加
害タルヤ恐ルベキモノガアルコトハ、此ノ
優生法ドコロデハナイト私ハ思ッテ居リマ
ス、ソレデ又強ヒテ此ノ所謂優生ニ反スル

○國務大臣(吉田茂君) 只今ノ御意見ハ、
今後ニ計畫ヲ致シタイト思ヒマスモノガ大
部分デゴザイマスガ、ソレ等ヲ併セマシテ、
現在差上ゲデアリマス資料ノ外ニ、取纏メ
テ差上ゲタイト思ヒマス

○委員長(子爵野村益三君) 先刻小村侯爵
カラノ御尋ネデシタガ、司法當局者ガ見エ
マシタノデ御説明ヲ願ヒマス

コトモ起ッテ來ルデアラウト思ッテ居リマス、之ニ對シテハ只今ノ所迄ハサウ云フコトヲ御實施ニナラナイト云フ御話デゴザイマシタケレドモ、何分牢カラ出レバ直グニ又ソレヲヤルヤウナ人間ヲ、其ノ儘ニシテ放タルコトガ果シテ當ラ得テ居ルカドウカ、中ニハモウ殆ド一生牢獄ニ置カナケレバナラヌヤウナ種類ノ人ガ隨分居ルヤニ承ッテ居リマス、今後ニ對シテハサウ云フコトモ御考慮ニナラナイデゴザイマセウカ、ドウデゴザイマセウカ、只今ハ御實行ニナッテ居ナイト云フコトハ今承リマシタケレドモ、其ノ點モ併セテモウ少シ得心ヲ得タイト思ッテ居リマス

○説明員(清原邦一君) 或種ノ犯罪ニ付キマシテハ單ニ刑罰ヲ以テ臨ムダケデハ不十分デナイカ、換言致シマスト保安處分のニ之ヲ勾禁スル必要ガアルノデナイカト云フコトハ、豫デカラ唱ヘラレテ居ル所デアリマシテ、刑法改正委員會ニ於テハ例ヘバ常習ノ強盜或ハ放火、殺人、此ノ種ノ犯人ニ對シマシテ不定期刑ヲ以テ臨ムトカ、或ハ豫防勾禁ノヤウナ方法ニ依リマシテ之ガ改悛ノ情ガアル迄ハ社會ニ出サナイヤウニスルカ、サウ云フ風ナ問題ガ研究サレテ居ルノデアリマスガ、去勢ノ問題ハ極メテ人權ニ影響スル所ガ重大デゴザイマスノデ、只今ノ所具體的ニ其ノ問題ニ付テマダ研究致シテ居リマセス、併シ刑事政策的ノ方面カラ見マシテ、或種ノ風俗犯人ニ對スル去勢ノ問題ハ極メテ重要ナ問題デアラウカトハ考ヘテ居リマス

○侯爵小村捷治君 尙ソレデハ希望トシテ附加ヘテ置キマスガ、左様ナ性的犯罪ガ一度位同一場所ニ於テ行ハレタ場合ハマダ想

スベシト致シマスガ、餘リ犯行ヲ重ネマス場合ニハ、是ハ當然ソコ迄御考慮ニナッテ然レベキモノト思ヒマス、其ノ點ノ尙深キ御考究ヲ希望致シテ置キマス

○委員長(子爵野村益三君) 他ニ御質疑ハゴザイマセスカ

○子爵水野勝邦君 只今ノ法案ヲ提出サレテ居ル理由カラ考ヘマシテ之ヲ實行スルニ當リマス、當然先程實吉子爵ノ言ハレタコトニ聯關スル譯デアリマスガ、眞ニ優生ノ目的ヲ達スルノニ、一方ガ缺ケテ居ル其ノ方面ノ充實ヲ圖ラナケレバナラヌト云フコトハ勿論デアリマスガ、簡單ナ問題トシテモ此ノ遺傳性ノ疾患ノアル者ヲ、收容施設ナドノヤウナモノヲ一層充實スルト云フコトハ此ノ法案ヲ施行サレル目的ニモ副フノデナイカ、ソレデ此ノ法案ダケガ公布サレレバソコニ社會的ニ色々疑惑ヲ持テ、又厚生省ノ考ヘテ居ラレル目的ト反シタ考ヲ持ツ、マア誤解デゴザイマスガ、サウ云フコトハ起リハシナイカ、斯ウ云フ重要ナ法案ヲ御出シニナル時ニハ、サウ云フ一方救濟ノ施設ナドモ同時ニ目立ッテ發表ノヤウナコトヲサレテ、國民ノ誤解ノナイヤウニ圖ラレタラ如何カト思フノデアリマス

○國務大臣(吉田茂君) 誠ニ御尤ノ御察付デゴザイマス、精神病者等ニ付キマシテハ從前カラ精神病者ニ對スル法制ハ既ニ出テ居リ、收容設備モ出來テ居ルノデアリマスガ、此ノ程度デ十分ダト云フ所ニハマダ、ナカノ參ッテ居ラナイノデアリマス、豫算等ノ關係モゴザイマシテ、甚ダ今日ノ現狀デハ誠ニ相濟マスト思ッテ居リマス、其ノ外不具癡疾ノ人達ガ不自由ナ體デモ幾ラカ世間ノ爲ニ盡サセルコトモ、有意義ニ働ケ

ルト云フヤウナ方法ニ付キマシテハ今日ノ程度デハ十分デナイト存ジマス、勿論ソレ等ノ施設ハ全然ナイ譯デナイ、アルコトハアルノデアリマスガ、不十分ダト云フ程度ニアリマス、本法案ガ通過シテソレ等ノ施設ガ充實シテ參リ、本法案ノ趣意ガ是ダケデ以テ國民優生ノ目的ヲ達シ得ルノデナイ、色々ナ方策ガ併セ行ハレ得ルコトニ依ッテ始メテ此ノ法案ノ趣意ヲ實際ノ國民生活ノ上ニ具現シ得ルモノダト云フコトハ此ノ一年間、單ニ一年間バカリデナク、本法ヲ運用スルコトニナリマシテカラ一般國民ニ知ッテ貰フト云フコトニ付テハ十分努メタイト思フノデアリマス、昨日ノ本會議ニ於テ申シマシタ通りニ法律ヲ形式的ニ運用スルト云フコトヨリハ、此ノ立法ノ趣意ノアル所ヲ國民ニ能ク知ッテ戴イテ、左様ナ理由ノ下ニ國民各自立派ナ子孫ヲ澤山ニ御國ニ寄與スル、サウ云フ心持ニナッテ貰フト云フコトガ一番根本的ニ大事ナコトダト思ヒマスノデ、御注意ノ點ハ十分之ヲ拜得シマシテ、實行ノ上ニ效果ヲ擧ゲテ行クヤウニシタイト思フノデアリマス

○男爵高木喜寬君 此ノ法案ノ趣旨ニハ全然贊成デアリマスノデ、國民ノ體力ヲ向上サセル一手段トシテハ是非實施スベキモノダト思ヒマス、唯憂慮スル點ハ此ノ優生手術ニ依ッテノ結果多少人口ノ減少ヲ來ス虞ガアルノデヤナイカ、從テ此ノ手術ヲ行フニ付テハ人口之ヲ行フト同時ニ他ノ方法ニ依ッテ之ヲ増スヤウナ方法ヲ考ヘテ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、例ヘバ「ドイツ」ナドニ於キマシテハ一番是ハ盛ニ行ハレテ居リマスガ、「ドイツ」ニ於テハ此ノ妊婦ノ補助ヲスル、

或ハ小兒補助金ヲ與ヘル、又多産ノ家ニハ減稅ヲスルトカ、サウ云フヤウナ色々ノ方法デ以テ一方サウ云フ優良ナモノヲ増スヤウナ方法ヲ同時ニ行ッテ居ルノデアリマス、從ッテソレ等ノ方法ヲ行フニ付テハドウシテモ非常ナ費用ガ掛ル、デ私先程カラ伺ッタルデハ段々ト増スト仰シヤルケレドモ其ノ豫算モ非常ニ少イノデアリマス、從ッテ是デハ十分ナコトハ出來ナイダラウト思フノデ、サウ云フ方面ニ付テ政府ニ於テハ今御考慮サレテ居ルノデアリマセウカ、其處ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(吉田茂君) 誠ニ御意見ノ通りデアルト私共モ考ヘマス、此ノ法案自體ハ手術スルシナイト云フコトヲ決メタル物指ヲ決メテアルノデアリマシテ、手術ヲ禁壓スルト云フ方面カラハ人口増加ニ若干ノ支障ハアリマスガ、ソレハ積極的人口對策ト申スベキ程ノモノデハナイト思フノデアリマシテ、併セテ外ノ人口對策ガ行ハレナケレバナラナイト思フノデアリマシテ、御意見ノ通りデアリマス、本年御審議ヲ願ッテ居リマス稅法等ニ於キマシテ、家族控除ト云フモノヲ可ナリ今迄トハ違ッテ重ンジテ入レテアリマスルコトモ其ノ一端デゴザイマス、只今厚生省ニ於キマシテハ子供ノ數、多産家族ト云フモノノ調ヲ色々ナハ全國全體デハゴザイマセスガ、數十萬ニ上リマシテ都市、農村或ハ職業別等ニ應ジマシテ、ドウ云フ年齡デドラゲノ男女ノ子供ヲ得テ居ルカト云フヤウナコトヲ「カード」ニ記入シテ貰フト云フニ致シマシテ統計ヲ調べテ居リマス、其ノ中ノ優良ナモノニ付キマシテハ相當ノ表彰方法ヲ行ハウト云フヤウナ心構ヘデアリマス、同時ニ其ノ資料ハ貴重

ナル日本ノ人口問題ノ資料ニナルグラウト
思ヒマスガ、下村博士ノ御世話ニナッテ居リ
マス人口問題研究所ノ方デ大切ナ問題トシ
テ研究ヲ進メテ居リマス、其ノ外ノ獎勵金
或ハ家族手當ト云フヤウナモノニ付キマシ
テハ極メテ不徹底ノモノデアリマスガ、
今年ノ戰時下ノ生活困難ト云フコトニ付キ
マシテ、若干其ノ端緒ヲ開クコトヲ私共ノ
所デ申シ出シテ、緒ニハ就イタヤウナ次第
デアリマス、賃銀制度ト致シマシテモ段
々理解ノアリマス工場、鑛山等ニ於キマ
シテハ子供ノ數ニ應ジタ家族手當ト云フヤ
ウナモノヲ支給スル風ガ自然殖エテ参リマ
シタ、國家トシテモ是等ニ對スル獎勵助長
方法ト云フモノヲ考ヘネバナラナイと思ヒ
マス、色々方面カラシテ今日人口ノ自然
増加率ノ遞減シテ居リマス我が國ニ於キ
マシテ、如何ニ此ノ人口問題ニ質的ニ量的
ニ對處スベキカト云フコトニハ未ダ取殘サ
レタ方策ガ大分アルと思ヒマス、ソレ等ニ
ハ十分力ヲ用ヒタイト云フ考ヲ持ッテ居ル
譯デゴザイマス、御趣旨ノ點全ク御同感ニ
存ジマス

○委員長(子爵野村三君) 他ニ御質疑ガ
ゴザイマセスカ……小池男爵

○男爵小池正晃君 チョット政府委員ノ方
ニ御伺ヒシタイコトデアリマスガ、遺傳因
子ト申シマスガ、遺傳因子ガ段々傳ハッテ
行クノデアリマスガ、ソレハ環境ニ依ッテ大
分變化スルモノデハナイノデアリマスガ、
或ハ段々配偶ヲ選ンデ行ケバ段々ト惡イ素
質ガ良クナッテ來ルノデハナイノデアリマ
スカ、將來ズツ遺傳因子ト云フモノハ變化
シナイモノデアリマスガ、或ハ變化スルモ
ノデアリマスガ、遺傳因子、是ハ一ツ本法

案ヲ考ヘルニ付テハ重大問題デアリマスカ
ラ御所見ヲ承リタイと思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 遺傳因子其ノモ
トハ變リマセヌデ、段々ト傳ハリ、又段々
ト個體ノ増殖スルニ從ヒマシテ増シテ行ク
ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯人類ノ生殖
ニ於キマシテハ六ツノ個體ガ配合、結合シ
テ行クノデアリマスカラ其ノ配合ノ仕方ニ
依リマシテ、組合セノ結合如何ニ依リマシテ
ハ必ズシモ遺傳因子ガ明確ニ現レテ來ナイ
場合ガアリ得ルノデアリマスカラ遺傳因子
其ノモノハ環境ノ影響ニ因リマシテハ變化ス
ルコトハナイモノデアラウト考ヘテ居ルノ
デアリマス、唯極端ナ例外ノコトヲ申シマス
ト、突然變異ト云フヤウナコトモ起ル場合
是ハ極メテ稀ニハゴザイマセウ、一遍遺傳
因子トナッテ細胞ノ核ノ上ニ存在シマスレバ
是ガ良クナリ惡クナルト云フコトハ極メテ困
難ナコトデアリマシテ、唯ソレガ遺傳因子ノ
結果トシマシテ例ヘバ惡性遺傳因子デアリ
マスレバ、其ノ傳ハリマシタ結果トシテ精
神病患者ガ出ル、或ハ配合ノ狀態ニ依リマ
シテ病人トシテハ現レナイ、斯ウ云フコト
ハゴザイマセウガ、因子其ノモノハ是ハ細
胞ト共ニ傳ハリ且分裂増殖シテ行クモノデア
リマスカラ是モ斷種手術ノ如キモノニ依ッ
テ取止メテシマハナイ限りハ何處迄モ傳
ハッテ行ク、唯環境ノ影響ニ因リマシテ其
ノ疾病ガ發病シ易キ狀態ニナル、其ノ發病
ノ誘因ガ少ケレバ或ハ因子ガアリマシテモ
發病シナイコトモ往々アリ得ルノデアリマ
ス、其ノ程度ニ考フベキカト存ジテ居リマ
ス

○男爵小池正晃君 サウ致シマス遺傳因
子ハ段々ト續イテ行クモノデアアル、併シ發

病シナイモノガマアルノダト、結婚ノ工
合ニ依ッテハ發病シナイデ済ムノダ、惡イ因
子ヲ持ッテ居ル者ガ結婚スル、兩方ガ惡イ因
子ヲ持ッテ居ル場合ニハ惡イノダカラシテ
サウ云フコトヲ警戒スベキダガ、ソレヲ四
等親以內ニ限ツタノハドウ云フ譯デゴザイ
マスガ、因子ト云フモノガドンノ續イテ
來ルトナラバモ祖先カラ考ヘナクチヤナ
ラス譯ニナル、ソレヲ四等親以內ニ限ッテ
考慮サレテ居ルノハ、發病ヲ考慮サレテ居
ルノハドウ云フ見解デアリマスガ、要スル
ニ近イ近親ダケ近イ年代ニ於ケル近親ダケ
ヲ指シテ居ルノデアリマスガ、遠イ昔カラ
ノ因子ヲ若シ我々ガ皆持ッテ居ルトスレバ
素質ガチツトモ減ラナイトスレバ皆持ッテ居
ル譯デアアル、皆誰デモ唯出ナイト云フダケ
デト云フコトモ言ヒ得ルンデヤナイカ、其
ノ點御伺ヒ致シマス

○政府委員(高野六郎君) 第三條ノ第二項
デゴザイマスガ、四親等ト云フ文字ガアリマ
スガ、是ハ血族結婚ノ場合デゴザイマシタ
丁度從兄弟同志ノ結婚ト云フヤウナノガ之
ニ丁度該當スル譯デアリマシテ、同ジ家系、
血統デアリマシテ、同ジ惡質ノ素因ヲ持ッ
テ居リマスレバ其ノ結婚ガ行ハレマスノガ
丁度從兄弟同志ノ場合ニ實際ノ問題ガ起ル
ノデアリマス、同ジ因子ヲ兩方ガ持ッテ居
リマスカラ非常ナ濃厚ニ、詰リ惡質ノ因子
ガ結婚ニ因ッテ重ナリ合フト云フコトニナ
リマシテ、此ノ場合ハ最モ多クノ惡質發病
者ヲ期待セネバナラス危險ガ甚ダ多イ、斯
ウ云フ意味ニ過ギマセヌ、理論カデ申シマ
スレバ惡質ノ素因ハ悉ク無キモノガ宜シイ
ノデアリマスガ、此ノ法案ニ於キマシテハ
最モ危險ナモノカラ手ヲ著ケヨウト云フ程

度デアリマスノデ、此ノ邊ニ止メタノデア
リマス

○男爵小池正晃君 サウ致シマスアナタ
ハ從兄弟同志ト云フ、血族ト云フ從兄弟同
志ト云フケレドモコイツハ何デヤナイデス
カ、例ヘバ高野君ノ家庭ト私ノ家庭ト子供
ガ結婚スルニ何モ子供同志ハ從兄弟デナイ
ガ、アナタノ家庭デ四等親以內ニ矢張り若干
サウ云フ系統ノ因子ヲ持ッテ居ル、サウスレ
バ從兄弟同志デナクトモ結婚ハ避クベキモ
ノデヤナイノデスカ、從兄弟同志ト云ヘバ
近イ血族デアルケレドモオハオハオ血族
ニ持ッテ居タナラバ四等親以外デモ矢張り
工合ガ惡インデヤナイデスカ

○政府委員(高野六郎君) 私ノ從兄弟同志
ト申上デマシタノハ一番事例ガ明瞭デア
ルト考ヘタノデアリマス、今其ノ御示シノ通
リニ同ジ素因ヲ兩者ガ持ッテ居リマスレバ
四親等以內ニ矢張り該當スル譯デアリマス
○男爵小池正晃君 併シ其ノ程度ガソレハ
審査會デ御決メニナルノデセウケレドモ、
マア審査會ニ委セバ宜イヤウナモノデア
リマスケレドモ、サウスルト其ノ影響スル所
ハ例ヘバ二十五萬人ノ精神病ノ系統ガ現在
アル、ソレノ四等親ヲ考ヘルト十人四等親ガ
アルトスレバ二萬五千人、ソレガ兩方夫婦
ニナルカラ其ノ倍、マア非常ナ影響スル所
ガ數ハ分リマセヌガ、大キクナルンデヤナ
イデスカネ

○政府委員(高野六郎君) 是ハ同ジ病氣ノ
時バカリノ心配デゴザイマスカラ例ヘバ私
ノ血統ニ精神分裂症ガアル、失禮ナガラア
ナタノ系統ニモ同ジ精神分裂症ガアル、サ
ウシテ共ニソレハ遺傳性ノ精神分裂症ノ遺傳
デアアル、此ノ場合ニ是ガ結婚スル時間問題ニ

ナルト云フノデーツノ病氣ダケニナリマス
餘程範圍ガ狭クナルヤウニ考ヘラレマス
○國務大臣(吉田茂君) 私カラ補足申上
テ置イタ方ガ御分リガ易イと思ヒマス、此
ノ法案ハ家系ガ大體左様ナ遺傳系統デアリ
マシテモ本人ガ發病シテ居リマセヌケレバ
優生手術ハ行ハナイト云スコトヲ原則トシ
テ居リマス、病氣デナイ者ハ……ダケレド
モ、四親等以內ノ血族ノ中ニ、之ノ一ツニ
該當スル疾患ニ罹ッテ居ル者ヲ銘々ノ結婚
スル當事者ガ各自有シテ居ル時ニハ、主ト
シテ將來ニ生ルベキ子供ハ、醫學的經驗ノ
上デ疾患ニ罹ル虞ガ特ニ著シイ時ニハ、御
本人ガ病氣デナクテモヤレルト云フ例外ノ
規定ガ、今ノ四親等以內ト云フ條文デゴザ
イマスカラ、其ノ點ハ勿論御承知ノ上ノ御
問デアリマセウケレドモ、ソレデハ手溫イ
デハナイカト云フコトハ是ハ成立ツト思ヒ
マスガ、事ノ慎重ヲ期シマスル爲ニ、御本
人ガ病氣デアッテ、サウシテ醫學的經驗上
ソレハ遺傳ヲスルト云フコトノ確實ナ場合
ト云フコトヲ原則ニ致シテ居リマス、ソレ
ト併セテ、政府委員ノ説明ヲ御考ヘ下サイ
マスルト、法案ノ趣意ハ、之ガ十分デハナ
イト云フ御意見ハ成立タウカトハ思ヒマス
ガ、或バ此ノ法案ノ趣意ト致シテ居ル所ハ
御諒解ガ得ラレルヤウニ思ヒマス

○男爵小池正晃君 モウ一言、餘リ執拗イ
ヤウニ伺ヒマスガ、サウスルト四親等以內
ノ血族デ現在遺傳ノ素質ガアル、併シ現在
發病シテハ居ラス、非常ニ健全デアル、ソ
レカラ一方ノ家系ノ者モ發病ハシテ居ラス、
併シ遺傳學上カラ言ヘバ其ノ遺傳ノ原子ト
云ヒマスガ、互ニソレヲ持ッテ居ル、環境ガ
良イカラ發病シナイカ何カ知ラスガ、發病

シナイ、サウ云フ者ガ二代三代續イテ發病
シナイデ、ドンノ來ル、サウスルト遺傳
因子ハ矢張り持ッテ居ルノデスカ、十代モ五
代モ前ノモノハ……
○政府委員(高野六郎君) 其ノ因子ガ子孫
全部ニ同様ニアルトハ考ヘラレナイノデア
リマシテ、丁度ハ、小池男爵ハ醫學者デ
スカラ御案内ノ如ク、細胞ノ分裂ニ伴ッ
テ、男女ノ兩方ノ側ノ細胞ノ數ガ半分ヅツ
混ルノデアリマス、混リ加減ニ於テ遺傳因
子ヲ持タヌノモ出テ來ル譯デアリマシテ、
全ク危險ノナイノモ生レテ來ル譯デアリマ
スガ、此ノ際問題ニナッテ居リマスノハ、四
親等以內ニ同ジ遺傳素質ノ患者ガアリマシ
テ結婚ヲスルト云フ場合ニ、本人ガ希望ヲ
シテハハ家系ノ調査ヲシテ見テ、ドウモ子
供ニ同ジ患者ガ現レルコトガ甚ダシク、恐
ラク非常ニ多ク現ハレルコトデアラウト云
フコトヲ恐レマシテ、希望ガアレバ審査ノ
結果、手術モ許サレルカト云フ點デゴザイ
マス、餘程ハ制限サレタモノト考ヘテ居
リマス

○男爵小池正晃君 先刻ノ御答辯デハ遺傳
因子ト云フモノハ、分裂シテ殆ド變化シナ
イ、學問上變化シナイデ、何時迄モアルノ
ダト云フコトト、此ノ發病シタ者ガナイト
云フコトト關係ガドウモアヤフヤダ、今ノ
遺傳學ト云フモノガ、マダ研究ガ十分デヤ
ナイデヤナイデスカ

○政府委員(高野六郎君) 是ハマア御意見
デアリ、議論ニナルカモ存ジマセヌガ、遺
傳ト云フモノガ生物ヲ支配スルコトハ、ソ
レハ間違ヒナイ事實デアリマシテ、例ヘバ
色ノ白イ者ト黒イ者ト云フコトデアリマシ
テモ、ソレヲ支配スル遺傳因子ガアリマシ

テ起ルコトデアリマスカラ、偶々疾病ヲ起
スヤウナ遺傳素質ガ、何カノ理由デソコニ
入ッテ參リマシレバ之ヲ無クスル、無クスル
ト申シマスルノニハ、發生ヲ止メテシマハ
ナイ限りハ、或程度子孫ニ傳ハッテ行ク、唯
其ノ分布ガ必ズシモ平等デアリマセヌカラ
子孫ニハ運ヨク其ノ素質ヲ持タズニ來ル者
モゴザイマセウシ、濃厚ニ享ケ容レラレテ
如何トモ致シ方ナイ者モ出來ル、大體斯様
ニ考ヘテ居リマス

○男爵小池正晃君 モウ一ツ伺ヒマスガ、
例ヘバ天才ノ因子ヲ持ッテ居ル人ハ、相手ノ
者ガ若シ分裂症デスカ、サウ云フ病氣ニ罹ッ
テ居ルト云フ場合ニ、片方ハ天才デアル、
遺傳ト云フモノハ夫婦關係デ出來ルデアリ
マセウカラ、本人ハ病氣ダ、併シ相手ノ方
ニハ天才ノ素質ガアル、遺傳因子ガアルト
云フ場合ニ、病氣ニ罹ッテ居ル者ハ斷種ハ出
來ナイデスカ

○政府委員(高野六郎君) 優秀ナ素質ヲ併
セテ持ッテ居ル場合ニハ、斷種ハ出來ナイ
致シテハイケナイト云フコトニ規定ガ出來
テ居リマス

○男爵小池正晃君 併シ本人デセウ、規定
ハ相手デヤナイデセウ、本人ガ病氣デアル、
本人ハ優秀ナル天才ハ持ッテ居ラナイ、併シ
相手ノ女ハ持ッテ居ル、サウ云フ時ニ本人ノ
斷種法ハ出來ナイト云フコトニナルノデスカ、
出來ルノデスカ、コイツハ一人デヤナ
イデスコ

○政府委員(床次徳二君) 只今ノ御尋ハ本
人ガ病氣デアリマシテ、其ノ配偶者ガ天才デ
アルト云フ場合ニ、本人ガ斷種ヲ受ケルコ
トガ出來ルカドウカ、斯ウ云フ場合ニ於キマ
シテ、本人ガ斷種ヲ希望スル場合ニ、配偶者

ノ同意ヲ得テ申請致スコトニナッテ居リマ
ス、必ズ配偶者ノ意思ヲ聽イテ申請致シマ
スカラ、配偶者ガ若シ自分ニ天才ノ因子ヲ
無クシテモ仕方ガナイト云フ考ノ下ニ同意
致シマス時ニハ、本人ハ固ヨリ法文ノ建前
上手術ヲ受ケルコトガ出來ル譯デアリマス

○男爵小池正晃君 私ノ聽クノハ第三條ニ
書イテアル所ノ、本人ヲ基準ニシテ居ル、
本人ノ手術ハ出來ナイデセウ、出來ナイコ
トモアルデセウ

○政府委員(床次徳二君) 此ノ但書ハ優秀
ナル素質ヲ併セ有スト云フノハ、本人ガ優
秀ナル素質ヲ有シテ居リマス場合ヲ考ヘテ
居ルノデアリマシテ、本人以外ニ優秀ナル
素質ヲ持ッテ居ル場合ハ豫期シテ居ナイノ
デアリマス、其ノ場合配偶者ノ同意ヲ得テ
申請ヲ致シマスカラ、豫メ配偶者ノ意思ト
云フモノデ以テ、後ヲ絶ヤスカドウカト云
フコトモ能ク分ル譯デアリマス

○男爵小池正晃君 此ノ位ノ程度デ……
○委員長(子爵野村益三君) 小池男爵ニ御
相談致シマスガ、御質疑ガアレバ、今日御
話ニナリマシテ、明日デモ改メテ説明ナリ、
御答辯ヲ得ルヤウニナサツカガ宜カラウト
思ヒマス

○男爵小池正晃君 何シロ頭ノ中ハ定ッテ
居リマセヌシネ、實ヲ言フト昨日此處デ戴
イタノデ、アナタ方ト少シ違フノデスカラ、
少シ御猶豫ヲ與ヘテ下サラストドウモ……
○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザイ
マス

○次田大三郎君 「メンデル」以後ノ遺傳
學ノ進歩ト云フ問題ハ、私共チットモ分ラナ
イノデスカ、之ヲ讀メバ分ルノデスカ「優
生制度參考資料」ノ中ノ「遺傳ト染色體ニツ

テ起ルコトデアリマスカラ、偶々疾病ヲ起
スヤウナ遺傳素質ガ、何カノ理由デソコニ
入ッテ參リマシレバ之ヲ無クスル、無クスル
ト申シマスルノニハ、發生ヲ止メテシマハ
ナイ限りハ、或程度子孫ニ傳ハッテ行ク、唯
其ノ分布ガ必ズシモ平等デアリマセヌカラ
子孫ニハ運ヨク其ノ素質ヲ持タズニ來ル者
モゴザイマセウシ、濃厚ニ享ケ容レラレテ
如何トモ致シ方ナイ者モ出來ル、大體斯様
ニ考ヘテ居リマス

○男爵小池正晃君 モウ一ツ伺ヒマスガ、
例ヘバ天才ノ因子ヲ持ッテ居ル人ハ、相手ノ
者ガ若シ分裂症デスカ、サウ云フ病氣ニ罹ッ
テ居ルト云フ場合ニ、片方ハ天才デアル、
遺傳ト云フモノハ夫婦關係デ出來ルデアリ
マセウカラ、本人ハ病氣ダ、併シ相手ノ方
ニハ天才ノ素質ガアル、遺傳因子ガアルト
云フ場合ニ、病氣ニ罹ッテ居ル者ハ斷種ハ出
來ナイデスカ

○政府委員(高野六郎君) 優秀ナ素質ヲ併
セテ持ッテ居ル場合ニハ、斷種ハ出來ナイ
致シテハイケナイト云フコトニ規定ガ出來
テ居リマス

○男爵小池正晃君 併シ本人デセウ、規定
ハ相手デヤナイデセウ、本人ガ病氣デアル、
本人ハ優秀ナル天才ハ持ッテ居ラナイ、併シ
相手ノ女ハ持ッテ居ル、サウ云フ時ニ本人ノ
斷種法ハ出來ナイト云フコトニナルノデスカ、
出來ルノデスカ、コイツハ一人デヤナ
イデスコ

○政府委員(床次徳二君) 只今ノ御尋ハ本
人ガ病氣デアリマシテ、其ノ配偶者ガ天才デ
アルト云フ場合ニ、本人ガ斷種ヲ受ケルコ
トガ出來ルカドウカ、斯ウ云フ場合ニ於キマ
シテ、本人ガ斷種ヲ希望スル場合ニ、配偶者

ノ同意ヲ得テ申請致スコトニナッテ居リマ
ス、必ズ配偶者ノ意思ヲ聽イテ申請致シマ
スカラ、配偶者ガ若シ自分ニ天才ノ因子ヲ
無クシテモ仕方ガナイト云フ考ノ下ニ同意
致シマス時ニハ、本人ハ固ヨリ法文ノ建前
上手術ヲ受ケルコトガ出來ル譯デアリマス

○男爵小池正晃君 私ノ聽クノハ第三條ニ
書イテアル所ノ、本人ヲ基準ニシテ居ル、
本人ノ手術ハ出來ナイデセウ、出來ナイコ
トモアルデセウ

イテ「ラ」……

○政府委員(高野六郎君) 大體御諒解が出
來ルト存ジマス

○下村宏君 ソレハ前ニ誰カ御問ニナッテ
居ツカ知ラスガ、今度此ノ法案デ不妊手術
ヲスル者、此ノ取締ヲ受ケルコトニナル者
ガ、現在ドノ位不妊手術ヲ受ケテ居ルノカ、
警察ノ調べトナルカ、見込ト云フカ、詰リ
先程高木男爵カラモ質問ガアリマシタガ、
此ノ法案デ世間デハ何カ人口ノ増加ヲ止メ
ルト云フヤウナ聲ガ一方ニ起ル、無論ソレ
デ減ッテ構ハヌト思フ、惡イ者ガ殖エテハ困
ルカラ減ッテ構ハヌガ、又一方デ殖ヤサナケ
レバナラヌト云フコトモ同感デアルガ、併
シ同時ニ此ノ制度ヲ行フ爲ニ、今迄ノ産兒
制限的ニナル者ハ取締リヲ受ケルカラ、相
當減ッテ來ルト云フコトモ亦考ヘラレルノデ、
優生ノ爲ニ遺傳デ當然「マイナス」ニナル人間
ダカラ、ソレヲ止メナケレバナラヌト云フ
コトハ人口ガ減ラウガ、減ラナカラウガ必
要デアルガ、併シ此ノ制度ヲ行ハル爲ニ、
産兒制限デ相當避妊手術ヲシテ居ル者ガ現
ニアルノダガ、今度ソレヲ取締リヤウニナ
ルト、ソレガドレ位減ッテ來ルト云フ、何カ御
見込ガアルノデスカ、ソレカラ又現在ドレ
位サウ云フ手術ヲシテ居ルヤウデアルカ、
ソレ等ニ關スル何カ材料ナリ、又既ニ質問
應答ガアツタラバ、後デ承知シタイノデス
ガ、ナケレバサウ云フ方面ノ材料ヲ頂戴出
來ルト、一般ノ誤解ヲ防グノニ宜クハナイ
カト思ヒマス

明カニナッテ居ラナカッタノデアリマスガ、
今度初カラ其ノ手續ガ此ノ法ニ依リマシテ
定マリマスノデ、今迄調べル手掛リガナイ
ノデアリマシテ、オ醫者様ニ委セツ切リト
云フヤウナ大體形ニナッテ居ツテ譯デアリマ
スカラ、數字ヲ以テドレ位優生手術ナリ、
或ハ先程カラ御話ガ出テ居リマス去勢ト云
フヤウナコトモ、醫療目的ノ爲ナラ許可シ
實行サレテ居ツタノデアリマスカラ、ナカ
ナカ數ヲ御參考ニスル程ニ適確ニ調べルト
云フコトハムツカシカラウト思ヒマスガ、
其ノ結果ドウナルカト云フコトモヤッテ見ナ
イト出テ來ナイデヤナイカト斯様ニ考ヘマ
ス、尙併シ當局ニ材料ガアリマスレバ、例
ヘバ癩癪養所デハ隨分暫クヤッテ居リマス
ガ、其ノ方ハ一體ドレ位ヤツカト云フヤウ
ナコトガ分リ得ルモノモ、中ニハアラウカ
ト思ヒマスガ、分リ得ルモノダケデモ御覽
ニ入レマシテ、御參考ニ供シテ宜カラウト
思ヒマス

○政府委員(高野六郎君) 極ク一部ノ調べ
デゴザイマシテ、只今ノ御求メニハ餘リ適
當セスト思ヒマスガ、或範圍ノ調べデ人工
流産、早産等ガドレ位行ハレルカト云フヤ
ウナ、御手許ニ多分差上ゲテ……ゴザイマ
セスカ、僅ノ調べガアルノデゴザイマスガ、
是ハ申ス迄モナク必要ガアツテ行ハレマシ
タ流産、早産ノ數デゴザイマスカラ、所謂
濫用ニ依ッテ行ハレタ數デハゴザイマセス、
御尋ネノ點ハ濫用ノ方ト存ジマスノデ、差
當リゴザイマセヌノデアリマス、是ハ材料
トシテ如何カト存ジマスガ、産科婦人科ノ
専門家ノ意見トシテ伺ツタ所ニ依リマス、
此ノ事ハ相當多ク行ハレテ居ルヤウニ承知
シタノデアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 甚ダ恐縮デア
リマスガ、私少御尋ネヲシテサウシテ明日
デモ御答ヲ得タイト思フノデアリマス、尙
皆様ニ何カ御質疑ニナッテ明日デモ改メテ
説明ヲ御希望ニナルコトゴザイマシタナ
ラバ、此ノ際御願ヒシタイト思ヒマスガ、
小池サン宜シウゴザイマスガ
○男爵小池正晃君 私ハ今考ヘルコトガア
ルンデスカ、今チヨット浮ンデ居ルノデスカ
直グ出テ來ナイノデス
○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ出テ
來ル間ニ、私一ツ……言フ迄モナク此ノ法
案ハ初メテノコトデ、要スルニ皆ンナ能ク
成ルベク多クノ人ニ諒解ヲサシテ戴ク必要
ガアルト思フノデアリマス、我々デモ實ハ
能ク分ラナイ所ガアル、ソコデ能ク御考ヘ
ニナリマシテ、明日改メテ御示シテ願ヒタ
イコトハ、第一日本ノ優生方策、此ノ優
生方策ニ消極的ノ施設ガアリ、積極的ノ施
設ガアルト云フコトハ御説明ニ依ッテ分リマ
シタ、其ノ内容ヲ御教ヘテ願ヒタイト思ッ
テ居リマス、ソレカラ其ノ次ハ本法ヲ執行セ
ナカッタラバドウナルト云フコトデアリマ
ス、第三ハ執行セナケレバナラナイ、執行
スベキ必要、デ此ノ二ツノ事柄ニ關聯シテ
ハ外國ノ實例ト云フモノガ必要ト思ヒマス、
先刻外國ノ實例ニ付テチヨット御話ガアリ
マシタガ、出來ルダケ一ツ外國ノ實例ニ付
テ御示シテ願ヒタイ、尙序デデアリマスガ
ラ第三條ノ該當者ト申シマスガ、モウ少シ
廣イ意味デ、例ヘバ精神病トカ、精神薄弱
症トカ、其ノ他云々ト云フコトガアリマス
ガ、其ノ數ガ、例ヘバ其ノ數ニ或係數ヲ掛
ケテ、此ノ第三條ニ列記シタルモノノ數ガ
出テ來タ譯デアリマス、其ノ根本ノ現在ノ

數、ソレハ日本ノデアリマス、ソレハ外國例
ヘバ「ドイツ」デモ宜イト思ヒマスガ、其ノ
優生法ヲ「ドイツ」ガ執行シタ時ノ御話シ
タ所ニ相當スベキモノノ數ト比較ガ取レ
バ非常ニ結構ト思ヒマスガ、若シサウ云フコ
トガ才揃ヘ得ルナラバ一ツ御教ヘテ願ヒタ
イ、何レニシテモ能ク大衆ノ間ニ本法ノ性
質、取扱ト云フヤウナコトヲ徹底セシメナ
ケレバナラス、是ハ大臣始メ本會議ニ於テ
モ御述ベニナツタノデアリマス、マア一口ニ
言ヘバ優生運動ト云ヒマスガ、狭ク言ヘバ本
法執行ニ付テノ事柄ヲ十分諒解セシメルコ
トデス、茲ニ優生制度參考資料ト云フモノ
ヲ頂イタノデ、例ヘバ「遺傳ト染色體ニツ
イテ」或ハ「民族優生ニツイテ」「外國ニ於
ケル優生法實施狀況」ト云フモノガ擧ゲテ
アリマスガ、實ハ是ハ非常ニ難解デ、殊ニ
遺傳ノ問題ニ付テハ先刻來色々小池男爵ト
ノ質問應答ガアリマスガ、ナカ／＼是ハ難
シイ、遺傳ト云フモノヲ或程度ニ諒解シテ、
ソレヲ信ジタナラバ、此ノ優生法案ト云フ
モノハ論議ガナイ一言ノ説明モ要ラナケレ
バ應答モ要ラナクテ肯定サレルノデアリマ
スガ、扱テ遺傳ト云フモノハナカ／＼ムツ
カシイ、例ヘバ遺傳ノ原則ニシマシテモ、
遺傳ノ現象ニシマシテモ、恐ラクマア高等
學校ノ自然科學デ之ニ似タコトヲ、細胞ノ分
列ト云フヤウナコトヲヤリマスガ、其ノ位
ノ程度デアレバ諒解モ出來ナイ、況ンヤ染
色體デアルトカ、減數分裂デアルトカ云フ
ヤウナコトハ顯微鏡ヲ覗イテ「ミクロトロ
ン」ヲ使ツタモノデナケレバ分ラナイノデア
リマス、況ンヤ遺傳ノ現象ニナッテ、或ハ優
性トカ劣性トカ、或ハ先刻御話ニナツタ突
然變異トカ、或ハ先祖還リトカ云フヤウナ

コトハナカ／＼分ラナイ、之ヲ讀ミマシテモ、ドウモ矢張り詳シク書カナケレバ分ラナイト云フ譯デセウ、ソレダケニ矢張り分ラナイ、分ラセルニハドウシタラ宜イカ、
「パンフレット」ニスルデモ色々書キ方、示シ方ガアラウト思フ、マアサウ云フヤウナコトハ餘程考ヘナクチャナラヌノデアリマス、要スルニ民衆ノ間ニ、大衆ノ間ニ本案ノ趣旨ヲ徹底セシメルノニハドウナサルノデアアルカト云フコトヲ一ツ御示ヲ願ヒタイ、大キク言ヘバ優生運動、是ハドウ云フ順序方法デナサルカト云フコトモ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ又元ニ還ッテ、日本ノ優生方策デアリマスガ、是ハ外國ノ翻譯デナク、日本ノ現情ト當局者ノ識見ニ依ッテ日本ノ優生方策ハ斯ウナダト云フコトヲ、此ノ際我々モ大衆モ承知シテ居ッたら非常ニ宜イと思フ、之ヲ一ツ簡潔ニ改メテ此ノ席デ御示ヲ願ヒタイ、尙此ノ積極的、消極的ノ問題デアリマスガ、ナカ／＼是ハ大變ナ問題ダト思フ、實ハ家庭的ニモ考ヘナクチャナラヌシ、社會的ニモ考ヘナクチャナラヌ、先刻光行サシカラ少年ノ保護ノ問題ガアリマシタガ、私ハ此ノ十五年以來非常ニ少年保護ノ問題ニ付テハ考ヘテ居ル、處ガ少年ノ保護ハアッテモ少女ノ保護ト云フモノ、ハナイ、矯正院ニハ少女ヲ收容保護スルト云フ此ノ制度ガナイ、少年保護ニシマシテモ漸ク江木司法大臣ノ時ニ物ニナリマシタ、其ノ後ノ經過ヲ見テモ我々ノ豫期シテ居ル如クニハ普及シテ居ラナイ、其ノ中ニハ御話ニナッタヤウナ非常ニ頑強ノ精神の缺陷者ガアル、殊ニ少女ト云フモノ、ハ一種ノ武器ヲ持ッテ居リマスカラ、是ガ跳梁跋扈シタ日ニハ、社會的ニモ治マリガ付カヌ、サウ云フ方面ニ向ッテモ少女ノ保護ガ必要ダシ、又ソレ等ノ研

究モ必要ダ、サウ云フコトモアリマセウシ、ソレカラサッキ大臣カラ御話ガアリマシタ優生結婚、ドウシタッテ結婚ノ問題ニ入ラナケレバ解決ハ付カナイ、處ガ今日ノ結婚制度ハドウデアアルカト云フト誠ニ亂雜極マル、經濟的ニモ社會的ニモ非常ニ亂雜ナモノデアアルト云フコトハ皆サン御承知ノ通り、多產主義モ宜イノデスケレドモ、唯多產ヲ獎勵シタノデハ私ハ役ニ立タヌト思フ、今日ノオ互ノ家庭ノ主婦ノ務ト云フモノハ雜務ガ非常ニ多過ギル、子供ノ世話モシナケレバナラス、老人ノ世話モシナケレバナラス、殊ニ家庭ノ仕事、家政ト云フモノハ非常ニ亂雜ヲ極メテ居ル、斯ウ云フ境遇ニアル者ニ單ニ多產ヲ獎勵スルト云フナラバ、是ハモウ母體ヲ壞シテシマフ、先ヅ結婚ヲスルノニハ一體我々ノ家庭我々ノ生活狀態デハ、或ハ相互ノ健康狀態デハドウ位ノ子供ヲ拵ヘヨウト云フ位ナ觀念ハ私アッテモ宜イト思フ、私個人ノ考トスレバ隨分私ハ若イ者ノ世話ヲシテ居リマスケレドモ、マア當リ前デ言ヘバ男二人ニ女一人ガ丁度宜イ所、多クテモ男三人、女ガ二人、ソレ以上ハ要ラヌト思フ、併シ要ラヌトナルト産兒制限ノ方ノ問題ニ觸レル、デスカラ總テノ狀態ガ許シテ多產ヲシタナラバ國家ハソレニ對シ或一定限ヲ超エタ數ニ對シテハ保護ヲスル、助成ヲスルト云フ制度ガ立タナケレバ、多產ト云フモノハ徒ニ名ハ良クテ實ハ良クナイ、サウ云フコトモ無論御考ニナルコトト思フノデアリマスガ、マアソレニ付テハ最モ關係ノ多いノハ生活ノ改善デアリマス、生活ノ改善ト云フモノハ文部省デヤッテ居ル、文部省ノ仕事ト云フモノハ誠ニ消極的ナモノデアアル、名ガアルダケナンデアアル、例ヘバ生活改善會ニ入ッテ居ル會員ト云フモノハ其ノ會

決メタコトヲ實行シナケレバナラスノニ、唯決メ放シナンデ、色々ナコトガ決ッテ居リマスケレドモ儲之ヲ實行スルト云フコトニナッテ居ラナイ、是ハ寧ろ厚生省デ御取りナッテ、サウシテ大イニ之ヲ擴張充實シテ、生活改善會決メタモノハ實行スルノ義務ヲ負ハセル、又之ニハ十分ナ補助助成ヲナサルト云フヤウナコトデナケレバ、是ハ矢張り母體ノ保護ニハナラヌ、從ッテ良イ子供ヲ拵ヘテ之ヲ事ナク成長セシムルト云フコトニハナラヌト思フ、今日ノ人口問題ヲ大觀シマス、是モ八九十萬人ノ自然増殖ハアリマスケレドモ要スルニ澤山産ンデ澤山殺シテ居ル、是ハ私ハ寧ろ弊害デアアル、縦ンバ今ヨリモ少ク産ンデモ殺ス方ヲ少クスル、生ンダモノハ生育セシムルト云フノガ萬全ノ策ト思フ、サウ云フモノモ果シテ將來ノ優生運動ノ優生ノ方策ノ中ニ加ハルモノカ、是ハ今日ハ御答辯ハ要求シマセウガ、何シロ今日日本ノ優生方策ハドウ云フモノデアアルカ、此ノ消極的方策、積極的方策ガドウ云フモノカト云フコトヲ我々モ明確ニ頭ニ刻ミ込ミ、當局者モ此處デ御考ニナッテ置ク、御考ニハナッテ居リマセウケレドモ、明言サレテ置クト云フコトガ、是ハ必要ダト思フ、ソコデ只今申上ゲタヤウニ日本ノ優生方策、ソレカラ本法案ヲ執行シナカッタナラバドウ云フ影響ガアルカ、ソレハ今ノ家計調査ノコトヲモウ少シ力説サレテ、サウシテナスッタ宜カラウト思フ、外國ノ實例モ之ニ添加サレタラ宜カラウト思フノデアリマス、ソレカラ執行スベキ必要、其ノ必要ヲモウ少シの確ニ明日御示ヲ願ヒタイ、ソレカラ今ノ優生運動デ本法案ノ趣旨ヲ大衆ニ徹底セシムルノニハドウ云フ方法ヲ執ラレカト云フコト、ソレヲ明日デモ一

ツ御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス、ソレデハ如何致シマセウ、御異議ガナケレバ今日ハ此ノ位ノ程度ニ致シマシテ、明日大體ノ御質問ガアレバ繼續致シマス、ソレガ濟ミマシタナラバモウ少シ具體的ニ進ンデ行キタイト、斯ウ云フヤウナ進行ヲ取ツタラ如何カト思ヒマス、如何デスカ、宜シウゴザイマスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(子爵野村益三君) 今日ハ是デ散會スルコトニ致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス
午後零時十八分散會
出席者左ノ如シ
委員長 子爵野村 益三君
副委員長 男爵高木 喜寬君
委員 侯爵小村 捷治君
伯爵柳澤 保承君
子爵實吉 純郎君
子爵水野 勝邦君
光行 次郎君
男爵小池 正晃君
下村 宏君
男爵村田 保定君
次田大三郎君
金杉英五郎君
岩田 三史君
野田六左衛門君
國務大臣 厚生大臣 吉田 茂君
政府委員 厚生省豫防局長 高野 六郎君
厚生書記官 床次 徳二君
説明員 司法書記官 清原 邦一君